



報告書

令和2年2月

大和市

目次

1. 開催概要	3
(1) 本事業の目的	3
(2) 当日のプログラム	4
2. 討議会の内容	5
(1) 大和市の子育てに関する取り組み情報	5
(2) 市民討議会の進め方	5
●話し合いのお約束.....	5
●付箋の書き方のポイント.....	5
(3) 午前の意見交換 ワールドカフェ	6
●進め方.....	6
●流れとまとめ.....	8
●詳細結果.....	9
(4) 午後の意見交換 ワークショップ	26
●進め方.....	26
●流れとまとめ.....	28
●詳細結果.....	30
3. 参加者アンケートのまとめ	56
4. 市民討議会の写真	64
5. 大和市の子育てを取り巻く状況	66

1. 開催概要

(1) 本事業の目的

大和市がより子育てしやすいまちになることを目指して、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、令和元年8月3日（土）に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民3,500名に案内を送付しました。

当日は、26名の市民の方と市内高等学校5校から生徒9名が参加しました。



(2) 当日のプログラム

日時：令和元（2019）年8月3日（土）

場所：大和市市民交流拠点 ポラリス -PoLaRiS- Room7, 8



・市民討議会は公開して行いました。

時間	所要時間	実施内容
9:30	-	受付開始
10:00	15分	開会のあいさつ・市民討議会の目的について
10:15	20分	大和市の子育てに関する取り組み情報（情報提供）
10:35	20分	本日の進め方の説明
10:55	70分	7グループ（5～6人）に分かれて3つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。 テーマ①：私のまちの子育て環境の良いところ、自慢したいところを出し合おう テーマ②：私のまちの子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう テーマ③：将来、より子育てしやすくするにはどうすれば良いか出し合おう
12:05	20分	グループ成果の発表
12:25	60分	昼食・休憩
13:25	10分	午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認
13:35	115分	午前中に出された意見を受けて、7グループ（5～6人）に分かれ、各グループが1つのテーマについて、意見交換を行います。 [テーマ] テーマ①：子どもが生き生きと遊べるまち テーマ②：地域ぐるみで子どもを育てるまち テーマ③：仕事と子育てが両立できるまち テーマ④：子育ての不安を和らげる支援策とは
15:30	25分	グループ成果の発表
15:55	20分	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
16:15	15分	閉会のあいさつ・アンケート記入

2. 討議会の内容

(1) 大和市の子育てに関する取り組み情報

市職員より、大和市の子育てを取り巻く状況や、市で行っている子育て支援事業について、説明を行いました。



(2) 市民討議会の進め方

コーディネーターより討議の進め方について説明を行いました。

討議は、自由な意見を出し合うために、少人数で意見交換を行うグループワーク形式で実施しました。

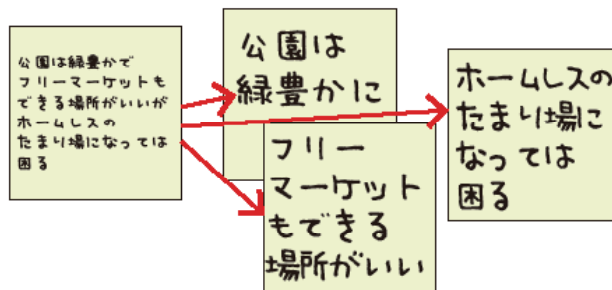
●話し合いのお約束

次のことを、話し合ううえでの約束事項としました。

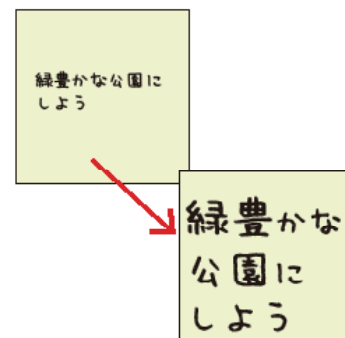
1. 全体の進行がスムーズにいくように協力しましょう
2. たくさんの事を言いたい時でもなるべく多くの方が議論に参加できるように配慮しましょう
3. 他の人の意見を否定したりせず、いろいろな考えの人がいることを理解しましょう

●付箋の書き方のポイント

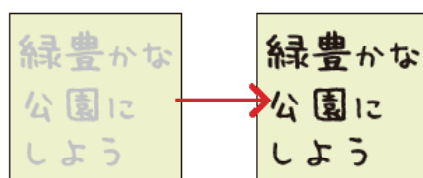
・1枚に1つのことを書く



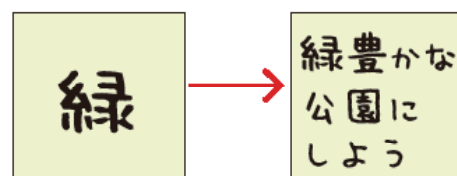
・できるだけ大きな文字で書く



・配布しているサインペンを使って書く



・単語ではなく、何をどうしたいかがわかるように書く



(3) 午前の意見交換 | ワールドカフェ

●進め方

- ・大和市の子育て環境の良いところや課題を出し合い、将来、より子育てしやすくするにはどうすれば良いかについて、議論しました。
- ・討議は5～6人のグループに分かれて、3つのテーマについてワールドカフェ方式で意見交換を行いました。

【ワールドカフェとは】

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考え方に基づいて、1995年にJuanita Brown（アニータ・ブラウン）とDavid Isaacs（デイビッド・アイザックス）によって開発された話し合い（対話）の手法です。

席替えをする度に対話内容を共有することで、より多くの参加者の考えを知ることができ、各参加者が対話を通じて「気づき」を得ることができる討議の形式です。

テーマ①：私のまちの子育て環境の良いところ、自慢したいところを出し合おう

テーマ②：私のまちの子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

テーマ③：将来、より子育てしやすくするにはどうすれば良いか出し合おう

1) 7つのテーブルに分かれて座ります

名札にお示したグループにご着席ください。

2) ヒトコト自己紹介

自己紹介シートを使って自己紹介をします。

3) テーマ①: 私のまちの子育て環境の良いところ、自慢したいところを出し合おう

思いついたことを何でも出し合ひましょう。

4) テーマ②: 私のまちの子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

5) 出し合った意見を書き出そう

テーマ①は青の付箋に、テーマ②にはピンク色の付箋に一人3枚ずつ書いて貼り出しましょう。

6) 席替え

名札に示した座席情報を基に移動します。

7) 前のグループの振り返りと自己紹介

前のテーブルで話したことを振り返り共有します。

8) テーマ③: 将来、より子育てしやすくするにはどうすれば良いかを出し合おう

好きなところをのばし、気になるところをなおしたまちのイメージを出し合ひましょう。

9) 出し合った意見を書き出そう

黄色の付箋に一人3枚ずつ書いて貼り出します。

10) グループのベスト意見を選び発表しよう

他のグループの聞かせたい意見を一人1枚ずつシール投票で選び、発表者を決めて発表します。

9頁以降の(●)の意見

テーマ①②のまとめシート

グループ 子育ての課題をみんなで共有しよう!

テーマ1 私のまちの子育て環境の良いところ、自慢できるところを出し合おう!

テーマ2 私のまちの子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう!

グループ 子育ての未来をみんなで考えよう

テーマ3 将来、より子育てしやすくするにはどうすれば良いかを出し合おう

産前	0~3歳	保育	就学
●			
			●
	●		
		●	

ベスト4にシールを貼る

テーマ③のまとめシート

●流れとまとめ

- ・ 3つのテーマについて7つのグループで話し合っていました。参加者のみなさんの意見をまとめると、次のとおりです。

私のまちの子育て環境の良いところ、自慢したいところを出し合おう	私のまちの子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう	将来、より子育てしやすくするにはどうすれば良いか出し合おう
<ul style="list-style-type: none"> ・ 待機児童ゼロなど、子育て施策が充実してきた ・ 保育園、幼稚園、放課後児童クラブ、寺子屋など子どもの預け先が充実している ・ 中学校でも給食がある ・ 自然、緑が豊かで公園が多く、施設や医療体制が充実している ・ 交通機関、コミュニティバスが便利 ・ あいさつや見守りなど近所付き合いがある ・ 住みやすい <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親の心のケア、大人の居場所が不十分 ・ すべての子育て世帯に助成がない ・ 子育て施策に地域差がある ・ 17時以降の小学生の居場所や雨天時に遊べる場所がない ・ 兄弟で同じ保育園に入れない ・ 道が狭い、公園が暗いなど安全性が心配 ・ 施設のバリアフリーや利用マナーが悪い ・ 問い合わせ時に関連しそうな情報も併せて教えて欲しい ・ 地域との関わりが少ない <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚や子育てへの良いイメージ、体験談を社会全体で共有しよう ・ 家庭環境に合わせた支援を強化し、子育て施策をPRしよう ・ 男性も子育てに参加しやすくなると良い ・ 兄弟で同じ保育園に通える、放課後児童クラブが増えるなど、子どもを預ける環境がさらに整うと良い ・ 両親の勤務時間を短くして子育てに関わる時間を増やそう ・ シニアの力で子育てを手伝う人を増やそう ・ 歩道の段差をなくし、幅を広げられると良い ・ 分煙を徹底しよう <p style="text-align: right;">など</p>

●詳細結果**ワールドカフェ（午前）まとめ**

※（●）は他のグループへ知らせたい内容

1 グループ（太字はまとめ、細字は個別意見）**テーマ1 大和市の子育て環境の好きなところ、自慢したいところを出し合おう****小児科が多く、何かあれば相談できるので、子どもが小さい時は安心**

- ・小児科が多い
- ・医療に困らなかった
- ・市に相談でき、何かあった時も楽だった

交通の便が良く、子どもを連れて出かけやすい

- ・大和市は交通の便が良い
- ・子どもを連れてお出かけしやすい
- ・交通の便が良いのが引越しの理由

歩道が広く歩きやすい

- ・歩道の幅が広く、段差で安全
- ・自分が住んでいる地域よりも歩道が広くて良い。ガードレールがないことが心配

家の近くに公園があるのが良い

- ・近くに公園がある
- ・やまと公園はサッカーができる

新しく素敵な施設が多い

- ・新しい施設が多く、5年ほど前よりも充実している
- ・シリウスが素敵で都民にも自慢できる

子育て支援策が増えてきている

- ・子育て支援策が年々増えてきた感じがする
- ・ハード面では子育て支援センター、福祉センター等の専門分野ごとに分かれた施設整備が進んでいる

テーマ2 大和市の子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

子どもための施設の支援員が少ない

- ・放課後児童クラブの支援員やコミュニティセンターの子どもの面倒みる人を増やしてほしい
- ・施設は充実しているが、支援員が少なく、見合っていないのではないか

子どもの医療費は全世帯を対象に助成してほしい

- ・医療費は全世帯を対象に助成してほしい
- ・小学校高学年くらいまで助成対象とし、世帯収入によって金額を変化させる

小学生が思いきり遊べる場が少ない

- ・道路に落書きができなくなった
- ・小学生が思いきり遊べる場所がほしい
- ・ふわふわドームは10歳までなど遊び場は年齢や学年制限がある
- ・小学6年生までは遊ぶ場所を確保してほしい
- ・シリウスの屋内こども広場では兄弟一緒に同じ場所で遊べるようにしてほしい

雨の日でも屋内で遊べる場がない

- ・雨の日などでも遊べるログハウスがほしい

子育ての施策も大切だが、少子化対策も必要

- ・少子化対策というより数の少ない子どもを大切にする政策になってしまっている
- ・婚活パーティーを市が主催する等少子化対策もするべき

テーマ3 将来、より子育てしやすくするにはどうしたら良いか出し合おう

産前

妊婦さん向けサービスを提供する (●)

- ・宅配サービスをもっと充実させる
- ・ウェブ注文は大量にクリックしなければならなかったり、定期便だといつも同じ商品になったりしてしまうので効率化や新しいアイデアを取り入れたい
- ・妊婦さんが無料で入院できて、いつ出産してもいい施設があると良い
- ・仕組みも重要だが、費用面も考える必要がある

子育て情報の宣伝が充実すると良い

- ・テレビで芸能人が宣伝するなど子育て支援施設の宣伝を今より充実させる (●)
- ・子どもが生まれると必要な資料が一式家に届くようにする

0~3歳	<p>親同士や地域と支え合う仕組みや場をつくり子どもを育て合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族同士が集まって、大家族のような集合体をつくり、子育てを支え合う ・しまうまの群れのように、自分の子どもを他の人に育ててもらおうことでつながりづくりになる ・ポラリスのように子ども同士で遊ばせる施設を増やすことで、保護者も交流できる
保育	<p>公園に子どもがわくわくする遊具や必要な設備を整備する (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具を取り除かないであげたい ・子どもにケガはつきものだが、現在再整備されたものは安全すぎたり、小さいものが多い ・公園に新しい遊具を増やしてほしい ・アスレチックはゲーム感覚で視覚的にも楽しい ・今の小学生は室内でゲームやスマートフォンで遊ぶことが多いのか、公園は閑散としている ・公園にきれいなトイレをつくってほしい <p>子ども向けに専門的なことを学べるセミナーを開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーをもっと開催してほしい ・専門施設をつくって特別感を出す ・小さい子向けや小学生向けなど年齢によって内容を設定してあげる ・学校は専門性が低いいため、セミナーで専門的なことを学べると良い
就学	<p>ボール遊びができる公園にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園でボール遊びができるようにしたい ・公園は無料で遊べるが禁止事項がある
その他	<p>医療費や教育費の補助金制度があると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学から大学入学くらいまで医療費や教育費の補助をする

2グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)

テーマ1 大和市の子育て環境の好きなところ、自慢したいところを出し合おう

公園が多い

子ども向けのイベントをしている団体が多い

- ・自治会・子ども会など、子どもたちを巻き込む行事をしている団体が多い

シリウスが大好き

- ・シリウスが大好き
- ・健康ポイントを貯めて健康管理もできるとよい

シリウスがあることによって勉強するきっかけが増えた

テーマ2 大和市の子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

お昼の時間帯に公園の利用者が少ない

- ・公園を利用する人が少ない
- ・お昼などに使っている人がいない

健康遊具が活用されていない

- ・公園に健康遊具があるが使っている人がいない

アスレチックや遊具、樹木などがある公園になると良い

- ・すべての公園に遊具がほしい、すべり台など一つはほしい
- ・もっと様々な遊具があると良い
- ・自然や樹木があると良い
- ・アスレチック公園がほしい

小学生、中学生、高校生など成長段階に合わせた遊べる場所、遊具があると良い

- ・公園はたくさんあり、幼児が遊べる遊具はたくさんあるが、小学生が遊べる鉄棒などの遊具がほしい
- ・中学生・高校生が楽しく遊べる場所が少ない。遊ぶところがカラオケ、ボーリングなどに決まってしまう
- ・シリウスに行きたいが混んでいる
- ・スポーツできるところや映画館が増えてほしい

テーマ3 将来、より子育てしやすくするにはどうしたら良いか出し合おう

産前	<p>子どもをつくるメリットがわかりやすくなると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをつくるメリットを訴求する <p>子育てに関わる具体的な予算や制度の充実、明確化 (●)</p>
0-3歳	<p>待機児童ゼロを継続し、より満足度を高めていけると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童ゼロを継続する ・家の近くなど、希望する場所に入れると良い
保育	<p>保育士のモチベーションが高まり、数が増えると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の数が増えると良い ・保育士のモチベーションを上げていく必要がある
就学	<p>家庭環境に合わせた経済的な支援が実施されると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭など資金的なサポートがあると子どもが生き生きとできる ・家庭環境に合った経済的支援策を明確にする
その他	<p>とくに駅周辺の治安が良くなるともっとキレイなまちになり、子育てしやすくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モラル、ゴミの問題 ・地域の学生でゴミ拾いする、地域とのつながりをつくる (●)

3グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)

テーマ1 大和市の子育て環境の好きなところ、自慢したいところを出し合おう

子育てについて考えようとしている

交通の便が良い、交通機関がしっかりしている

保育園で時間外も見ていただくなど、人情味がある保育園が多い

幼稚園の人が優しい

公園が多く遊び場が充実している

- ・ゆとりの森が広い
- ・ゆとりの森は遊具が充実している
- ・ワンパク心を満足させる遊び場があった
- ・公園が多い(遊べる場所が多い)
- ・のびのび育てる環境がある
- ・孫と遊べる場がたくさんある

小学校単位のコミュニティの仕組みがある

- ・小学校のサッカーチームのお世話をしていたが、地域のコミュニティづくりに寄与していた

シリウスは本がたくさんあり、ゆっくり時間が過ごせる

テーマ2 大和市の子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

小学校低学年の5時以降の居場所がない

お母さんの癒しの場所が少ない

交通の便が悪いところがある

- ・交通の便が悪い、市役所が駅から遠い、
- ・狭い道が多い

兄妹が同じ保育園に入れなくて大変

施設の質や使い勝手が悪い

- ・ゆとりの森の駐車場が有料
- ・施設に格差がある

子どもの遊び場が少ない

- ・自然の中で学べるようなところが少ない
- ・ボール遊びをする場所が少ない
- ・子ども同士がぶつかりあうような場所がない
- ・公園、放課後の学校に子どもがいない

地域との関わりがあまりない
子育て関係の仕事の給料が安い

テーマ3 将来、より子育てしやすくするにはどうしたら良いか出し合おう

産前	<p>子育て環境の見直しが必要（全部の時期に該当）</p> <p>両親が揃って子育てができるように、勤務時間を短くしてほしい。日本は、給料は高くても、幸せ度は低い（●）</p> <p>親が安心して仕事ができるサポートをしてほしい</p>
0-3歳	<p>保育園の環境を整えられると良い</p> <p>せめて兄妹を同じ保育園に入れてほしい（●）</p>
保育	<p>意見なし</p>
就学	<p>親が帰ってくるまでの、子どもの居場所を整えられると良い</p> <p>コミュニティセンターのような、気軽に遊べる場所がもっと増えるべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターは、ボール遊びもできるし、放課後行きたい時に友だちと行っていた ・小学校区に1つあるらしい（今日初めて知った）。開館時間10:00~22:00とのことで、夜遅くまでやっていることがわかった（●） ・親が働いている間の居場所がない ・公共の場所がほしかった。自分の子ども時代にポラリスがあったら利用した（●）
その他	<p>意見なし</p>

4グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)

テーマ1 大和市の子育て環境の好きなところ、自慢したいところを出し合おう

自然や緑が多い

公園が多い

- ・公園が大小含めて多い
- ・計画的に自然を残した公園が充実している
- ・緑がある自然豊かな公園

公共施設が充実している

- ・公共の場が完備されていて便利
- ・最近の施設、施策が充実している
- ・シリウスやポラリスなどの施設が増えてきた

住みやすいまち

医療体制が整っている

コンビニが多い

テーマ2 大和市の子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

公園は多いが、使われていなかったり、子どもが楽しく遊んでいなかったりする

- ・公園が多いが使われていないところがある
- ・公園があっても子どもが遊べない
- ・公園は多いが嬉々として遊んでいる様子があまり見られない

ボール遊びできる場所がない

遊具が少なくなっている

- ・遊具を取り除きすぎ
- ・遊べる遊具がなくなっている

子どもを危険から遠ざけすぎているのではないか

- ・安全優先で子どもを危険から遠ざけすぎている

街中に街灯が少なく夜暗い場所が多い

- ・街中で暗い場所が多い
- ・泉の森などの街灯が少ない
- ・林などが多いので夜道が危険

治安が悪い

- ・治安が悪い（モラルレベルが低い）

テーマ3 将来、より子育てしやすくするにはどうしたら良いか出し合おう

産前	<p>子育てに関する良い情報を知る方法が発信されていると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良い情報を知る方法の発信（●） ・初めての子の時に特に情報取得の支援が必要 ・市に聞くことを思いつかない ・申請するのに期限があるので、情報を知っておく必要がある ・産科でパンフレットなどを配布していると良い ・申請等のスケジュールをカレンダーにして目に入るようにできると良い
0-3歳	意見なし
保育	<p>子どもの年齢に応じて安全に遊べる場所があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢別の野外施設をつくる（●） ・公園にフェンスを設置してボール遊びができるようにする ・場所が区切ってあって、安全な遊び場もある
就学	<p>学校、児童館、家庭、民間施設など放課後に子どもを預かってくれる場所があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後毎日でも預かってくれる場所（学校・児童館・家庭）など、時間延長も含めて検討してほしい（●） ・民間団体を導入してスポットで18時くらいまで預かる ・小学生以降を育てる家庭の相談所を増やす <p>学校が古い</p> <p>就学後の経済的な支援策があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金の相談 ・制服をジャージにすると金銭的な負担が楽になるのではないか
その他	意見なし

5 グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)

テーマ1 大和市の子育て環境の好きなところ、自慢したいところを出し合おう

居場所が充実している

- ・シリウスはみんなが集まれて良い
- ・シリウスは大人にとっても居場所になっていて、近くの高齢者も毎日新聞を読みに通っている
- ・大和市はシリウスだけでなく、高校生にとっても居場所が充実している

寺子屋事業がある

- ・寺子屋事業で、宿題を見てもらえるのは良い。成績が上がるかは別にして、他の市にはないようだ

保育園の待機児童がない

- ・待機児童がない

近所付き合いが残っている

- ・高齢者や子育て層など幅広い世代がいて、近所付き合いが残っている

テーマ2 大和市の子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

お父さんやお母さんなどの心のケアへのサポートが少ないのではないか

- ・家庭に問題があったときは、友人知人ではなく第三者である市に介入してほしい。心のケアへのサポートが不十分
- ・子どもや高齢者にはサポートがあるが、お父さん、お母さん世代へのサポートが見られない
- ・お父さん、お母さんはいろいろ子育てしながらストレスを抱えているのに、休めるときがない

施策や施設は立派だが、実態はどうか

- ・施策の説明では、いろいろな取り組みがされていて100点のようだが、実態はどうか
- ・シリウスやポラリスなど立派な施設はあるが、そうした施設があるのは一部。地域差を感じる
- ・ハコモノが中心になっている

手当を拡充して、第2子から支給されるようになると良い

- ・現在第3子以降に手当が支給されているが、第2子から支給し、より子育ての経済的な負担を軽減させ、子どもを産みやすくしてはどうか

ボランティアなどに主体性がなく力を発揮できていないのではないか

- ・ボランティアに参加していると、いろいろ意見はあるようだが、市に伝えることをしないようだ。また言いたいことはあっても、実行に結びつかない
- ・言われたことはやってくれるが、主体性がない

他の世代との接点や交流する機会がない

テーマ3 将来、より子育てしやすくするにはどうしたら良いか出し合おう

産前	<p>大和市で結婚・出産・育児をしたいと思わせる情報発信が大切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生率を増やすには、市報で子育てサービスの情報提供だけでなく、まず「結婚したい」「子どもを産み育てたい」と思わせる情報発信が大切だ ・以前大和市に住んでいた子どもの親世代が戻ってくるには、住宅の情報発信も必要
0-3歳	<p>お母さんのストレス軽減のため、悩みや愚痴を吐き出せる仕掛けがあると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産後、ワンオペ状態になってしまうと、お母さんは話す相手がいなくなってしまい、「話し相手が欲しい」と感じてしまうようだ。お母さん同士のつながりをつくり、悩みなどを話し合えると良い
保育	意見なし
就学	<p>年齢別に安心して遊べるログハウスのような自然素材で作られている居場所があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の遊び場は人工的なので、自然素材による居場所があると良い ・ログハウスは年齢別に分かれていると、安心して子どもも遊べる
全期間共通	<p>広報だけでない、当事者にとって受け取りやすい情報発信が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報はいろいろな情報が掲載されているが、何が書いてあるのかわかりづらい。日々市内を巡回するゴミ収集車による情報発信や、防災無線などを活用して耳で聞こえる情報発信を行うことも有効ではないか <p>きっかけがないと情報はスルーしてしまう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報はお得な情報があるので、いつもよく読んでいる。意識して読めば、有用ではないか ・当事者にならないと、情報がたくさんありすぎてスルーしてしまう <p>当事者でないと課題に気づかない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が何に困っているのかわからない

6グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)

テーマ1 大和市の子育て環境の好きなところ、自慢したいところを出し合おう

中学校でも給食がある

子連れで移動するのが便利

- ・ コミュニティバスが便利
- ・ 帰り道にコミュニティバスを使えると楽

子どもが災害時に安心できる

- ・ 地盤が固い(安心)
- ・ 災害が少ない

都会(新宿・町田・原宿)・海・山など色々な遊び場にアクセスできる

- ・ 遊びに出やすいエリア

登下校時の旗振りの人とあいさつできる安全

- ・ 登下校時に横断歩道のところにパトロールの方が立っており安全

保育サービスを充実させてきているところが良い

病院と保育園が確実で、夜遅くまでOKなところ

- ・ 病院：市立病院、保育：利便性、確実性

テーマ2 大和市の子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

不法投棄されている場所や、ゴミの分別ができていないところがある

- ・ 汚い、通学で通る場所がゴミっぼい
- ・ ゴミの分別がなってない
- ・ 不法投棄がある

公園が少ない

歩道や自転車専用道路が狭い

- ・ 自転車専用道路が狭く、道がガタガタしているので子どもを乗せて運転すると怖い
- ・ 駅周辺は歩道が狭いく、ベビーカーが車道に出なければいけないような状況

自転車利用時に子どもにヘルメットを着かせさせない、車の助手席にチャイルドシートをつけるなど子どもの交通安全について親の意識が低いのではないか

- ・ 自転車利用時(子どもに)ヘルメットをつけさせない
- ・ 車利用時に助手席にチャイルドシートをつけさせる

公園が近くにないため、路上で遊んでいる

- ・公園が近くにない、そのため路上で遊ぶ
- ・ボール遊びができる場所がない

厚木基地の騒音が気になる

- ・騒音が気になる、厚木基地
- ・騒音で授業がストップしてしまう
- ・少しずつ良くなっている

南林間駅周辺のマナーが悪い

- ・マナーが悪い（南林間駅周辺）
- ・原因として外国人との文化の違いがあるのかもしれない

お母さんへのケアが足りない

- ・母親へのケア不足
- ・母親の息抜きできるような応援チケットを配布する
- ・お弁当づくりが大変なのではないか

テーマ3 将来、より子育てしやすくするにはどうしたら良いか出し合おう

産前	<p>産前のプレママ・パパ教室の日程が土日にも増えると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産前のプレママ・パパ教室の土日開催をもっと増やしてほしい <p>宅配サービスと連携できると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅配サービス連携 ・おいしく食事できるサービスがあると良い <p>駅前の利便性がより良くなると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の利便性の向上を
0~3歳	<p>オムツやミルクの自動販売機があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オムツ、ミルク自動販売機がほしい <p>オムツの定額利用制度があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オムツの定額利用の導入 <p>ベビーカーや車椅子が楽に通れる歩道になると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカー、車椅子が楽に通れる歩道を <p>ショッピングモールなどでイベントがあると参加しやすい (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールで未就学児対象イベントがあると参加しやすい

<p style="text-align: center;">保 育</p>	<p>病児保育がもっと利用しやすくなると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育と連携してもっと使いやすく
<p style="text-align: center;">就 学</p>	<p>夏休み中の寺子屋の利用時間が長くなると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺子屋の時間が夏休みは短い <p>高齢者がボランティアとして活躍し、子ども食堂の活動が充実すると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がボランティアとして参加して、子ども食堂を充実させてほしい <p>学生同士で勉強を教え合うような場所があると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が学生に勉強を教えられる場所をつくる <p>小学校高学年の子どもが安心していられる場所があると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年が安心していられる場所を確保してほしい <p>雨の日でも遊べるよう、屋内アスレチックなどがあるログハウスがあると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日でも遊べる屋内のログハウスがほしい <p>小・中学生の自転車マナーが向上すると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生の自転車の乗り方の教育をしっかりと、マナーを改善する <p>夏期のプール開催回数が増えると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏期プール開催を増やしたい
<p style="text-align: center;">そ の 他</p>	<p>大きな病院があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな病院がほしい <p>子ども同士の交流が多世代交流につながると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の交流が多世代での交流につながるのでは

7グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)

テーマ1 大和市の子育て環境の好きなところ、自慢したいところを出し合おう

こども～るなど、大人も子どもも交流できる場所がある

学生も過ごしやすい大型図書館がある

- ・大型図書館が建てられたこと
- ・シリウスなど学生にも過ごしやすい場所が多くて良い

きらきらぼしなど、メディアで紹介される子育て施設がある

- ・きらきらぼしが素晴らしい(登園前の預かり)
- ・メディアで紹介されていた

母子手帳の窓口が一本化している

テーマ2 大和市の子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

駅から離れた場所には道路に段差があるなどバリアフリーが十分でない

- ・駅から離れた歩道の縁石が高いなど、バリアフリーが足りない
- ・道路の段差がベビーカーを押す時にひっかかる

洋式トイレに慣れた子どもは、小学校や公園などで急に和式トイレを使えないので洋式トイレに統一されると良い

- ・子どもは小学校の和式トイレが使えない
- ・トイレを和式から洋式に変えてほしい
- ・公園もトイレを和式から洋式に変えてほしい

役所窓口で、案内時に関連しそうな情報も併せて教えてもらえると良い

南林間駅周辺の喫煙スペースがなくなると良い

シリウスなど公共施設の使い方やマナーが悪い

テーマ3 将来、より子育てしやすくするにはどうしたら良いか出し合おう

産前	<p>乳児健診のアンケートの表現が母親中心の育児を前提としていたので、市民の意識の変化に合わせて変わると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の意識はもう変わっているので、アンケートの「お母さんが育児することが前提」の表現変えよう <p>母親のケアが進むような施策があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん自身のケアが足りない ・ストレスが溜まっている ・夜も預かってほしいという声を聞く
0-3歳	<p>男性も育休が取りやすくなると良い（●）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性でも育児のための休暇を取りやすく <p>男性も参加しやすい企画やイベントがあると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性も参加しやすいような企画やイベントをする <p>レンタルベビーカーやレンタルカートがあると便利なのではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタルベビーカーがあると良い ・みんなが使えるレンタルカートがあると良い <p>小田急線など、交通機関と連携して子育て中の人々が電車をもっと使いやすくなると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田急線ともっと密に連絡をとって子育て中のママたちが利用しやすく ・ベビーカーや車椅子が乗るスペースのある車両が少ない
保育	意見なし
就学	<p>ボール遊びできる場所があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園で禁止されているボール遊びができる場所がほしい <p>北大和小学校にプレハブでない校舎が整備されると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の整備（北大和小学校は在校生が多くてプレハブ校舎）

その他	<p>道路を一方通行にしたり、使用していない花壇を塞ぐなどして歩道を広くし、段差がなくなると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自転車専用道路を使わないので、歩道を広くしてほしい・ 駅周辺は歩道施策のため一方通行にしてほしい・ 使っていない花壇や花を植えていない花壇は撤去して歩道を広くしてほしい・ ベビーカーが通りやすいように段差をなくしたい <p>禁煙スペースが増えると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 喫煙スペースをなくすか、完全に囲われたところになると良い・ 完全禁煙にするとよい・ 禁煙エリアを増やしたい <p>経済的な不安を和らげられると良い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 将来の不安（特に金銭的な）心配を和らげる <p>電動自動車が置けるくらい駐輪場の幅が広がると良い (●)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 電動自転車が置けないので駐輪場を広く <p>もっとマナーが良くなると良い</p> <ul style="list-style-type: none">・ マナーを守る
-----	---

(4) 午後の意見交換 | ワークショップ

●進め方

- ・大和市の子育ての現状を踏まえて、4つのテーマを設定し、具体的に気になることや心配なことを聞き出して課題を整理し、将来に向けた解決アイデアを出し合いました。
- ・5～6人で1つのテーマについて意見交換をしました。
- ・整理した課題について、グループ内で投票を行い、重要度を確認しました。
- ・最後に、課題に対する解決策を短冊に書いてグループごとに発表し、最も大切だと思ったものについて投票を行いました。

グループ①②：「子どもが生き生きと遊べるまち」

グループ③④：「地域ぐるみで子どもを育てるまち」

グループ⑤⑥：「仕事と子育てが両立できるまち」

グループ⑦⑧：「子育ての不安を和らげる支援策とは」

話し合いのテーマ

テーマ①

子どもが生き生きと遊べるまち



テーマ②

地域ぐるみで子どもを育てるまち



テーマ③

仕事と子育てが両立できるまち



テーマ④

子育ての不安を和らげる支援策とは

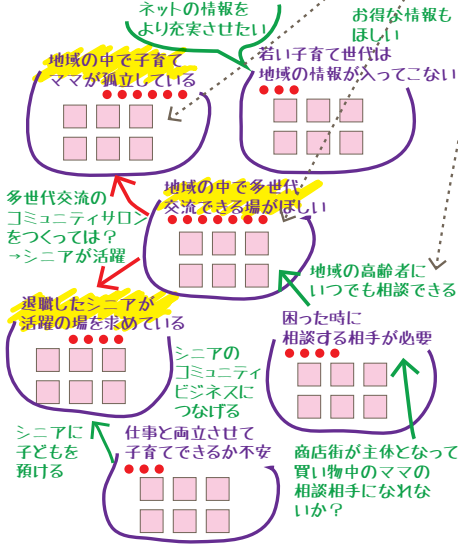


付箋の書き方のポイント

- ・ 1枚に1つのことを書く
- ・ 配布しているサインペンを使って書く
- ・ できるだけ大きな文字で書く
- ・ 単語ではなく、何をどうしたいかがわかるように書く

テーマ④

子育ての不安を和らげる支援策とは



1) 7つのテーブルに分かれて座ります

名札にお示したグループにご着席ください。

2) 午前中の議論を振り返ろう

進行役から午前中の議論をまとめて共有します。

3) ヒトコト自己紹介

自己紹介シート、テーマについて紹介します。

4) テーマの確認

テーマに関する補足や、午前中の議論の中で出たテーマに関する意見を振り返ります。

5) テーマに関する課題を整理しよう

テーマについて、気になることや心配なことを1人3~4枚付箋に書き出し、グループの中で同じような意見を集約するなどして、課題を整理します。

6) 重要な課題から解決アイデアを出しあおう

整理された課題はシール投票で重要度を確認し、重要度の高いものから、将来に向けた解決イメージを出し合いましょう。

7) アイデアをまとめて発表しよう

解決アイデアの中でシートにとりまとめ、発表者を決めて全体でアイデアを共有します。

8) 会場全体で出てきたアイデアをシール投票

他のグループのアイデアを含めて、大切だと思うアイデアにシール投票をします。

9) まとめ

本日の議論の成果を確認します

テーマ④

企業と行政と子育てNPO等の協働で、子育て世代に地域情報を届けるインターサービスを充実させる

テーマ④

地域の子育てをする親を地元のシニアが気軽に見守ることのできる多世代コミュニティサロンを行政や社協、子育てNPOが連携してつくる

テーマ④

退職後のシニアが、地域のNPOと連携しながら子育ての相談に乗れる場をビジネス運営。行政はノウハウのサポート

テーマ④

地元商店街と子育て系の団体が連携し、「子育てママの相談に乗れる商店街」として確立し、買い物中に気軽に声かけや悩み相談ができる体制をつくる

後半議論のまとめシート

後半議論の模造紙のイメージ

●流れとまとめ

午後のグループワークのまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号

課題

解決アイデア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

テーマ① 子どもが生き生きと遊べるまち

1グループ	公園で遊ぶ子どもが少ない	遊びに行きたくなくなる遊具を公園に設置し、天候も気にせず安心して遊べる場所をつくろう
	雨の日に遊ぶ場所が少ない	
	子どもに社会やリアルな職業を伝えたい	ポラリスやシリウスを会場に、社会人の失敗談・経験談の“生の声”が聞けるゲストティーチャーイベントをやろう
	大和市ならではのテーマパークがほしい	既存の施設も活用しつつ、シリウス超えのテーマパークをつくり、市民がワクワクして使える場所をつくろう
	部活の種類が少ない	民間と連携して部活の種類を増やし、子ども達のやりたいことを実現できる生き生きした学校をつくろう

テーマ② 地域ぐるみで子どもを育てるまち

2グループ	空き時間や得意なことを地域の資源として生かせると良い	市が大和市専用のテレビチャンネルや人材バンクなどの仕組みをつくり、地域ごとに情報を発信・共有しよう
	地域に顔見知りがない	安全・安心で信頼できるコミュニティをつくるため、町内会・自治会等による防災訓練の情報発信や開催方法を工夫する
	大人から地域の子どもの気軽に声かけできない	
	子育て世帯の孤立が心配	4～5世帯ごとに多世代の班をつくり、班対抗イベントなどで交流を深め、情報共有し信頼を築こう
3グループ	子どもの見守り、登下校の挨拶が必要	自治会館を拠点にして、自治会で地域交流活動しよう
	単身者や外国人をはじめ、地域での交流のきっかけが少ない	
	地域イベントはリスクや人手不足の問題から実施が難しい	子どもと地域の関わりを増やすため、各地でラジオ体操を行うことを、市に応援・宣言してもらう
	お母さんにあたたかな声かけが必要	疲れているお母さんにやさしい言葉をかけ、手伝おう

テーマ③ 仕事と子育てが両立できるまち

4グループ	家事、仕事、子育てのバランスをとることが大事	家庭内での話し合いや役割分担を大前提として、家事などの作業を棚卸し振分けよう。子どもの気持ち、愛情もしっかり考えよう
	ベビーシッターなどにアウトソーシングできることが大切	市のファミリーサポートセンターをもっと活用するために、宣伝・情報発信を強化し、担い手となるシニアや学生メンバーを増やそう
	ファミリーサポートセンターの担い手が足りない	
	遅い時間や長期休暇中の子どもの預け先に困っている	保育園が中心となり、①子育ての終わった家庭、②児童館、③放課後児童クラブを活用して、曜日や時間を気にせず子どもを預けられる場づくりを考えよう
5グループ	子どもと一緒に安心して外食したい	市のバックアップで自治会を活性化し、学生から高齢者までそれぞれができること（学習支援、食事提供、子ども預かりなど）をしよう
	自治会を有効活用したい	
	保育園で夕食を提供してほしい	
	子どもの教育資金が負担	子ども同士が互いに教え合う学習塾を開き、異年齢間の交流を深め、コミュニケーション能力も向上させよう
	母親へのケアが必要	母親のストレスを解消するため、①里帰り代わりに利用できる施設の整備、②カフェのドリンクチケットを配布、③レストランでママたちが集まっておしゃべりできる子育てフェアを開催しよう
	子どもが安心して過ごせると、親も安心して働ける	子ども見守りキャンペーン（週間、月間）を設け、みんなで市内を見回って見守りの意識づけをしよう

テーマ④ 子育ての不安を和らげる支援策とは

6グループ	気軽に相談できる人がいない	様々な手段で専門的な相談や気軽な相談ができ、Web サイトでも情報を閲覧できるとよい
	相談先が専門ごとに細かく分かれていると良い	
	親に相談してくれない子どもが心配	子どもが不安や悩みを保健室の先生やスクールカウンセラーに相談できる環境を整えよう
	子どもが安心・安全に遊べる環境が整っていると良い	シニアが公園や遊び場の維持管理にも関わり、子どもを見守ろう
	教育費をはじめ、子育てにかかる経済的な不安がある	第2子からの経済支援、ニーズに合わせて使える子育て応援券、教育費への支援策を整えよう
	先生が一人ひとりの子どものことをよく理解できると良い	電子カルテで情報共有する仕組みをつくり、学校同士が連携して子どもの成長を見守ろう
	歩道が狭く、段差があり安心して歩けない	バリアフリーが実現できる環境を整え、守れるルールづくりをしよう
	本当に困っている人が多機能トイレやエレベーターなどを使えていない	
	子どもの遊びが偏っている	大人の得意や好きを伝え、色々な遊びに触れる機会をつくろう

●詳細結果

■グループ1 子どもが生き生きと遊べるまち

●議論の流れ

- ・はじめに公園について、子どもが遊べる遊具が少ないことや現在整備されている遊具は安全性が考慮されすぎている点が課題となっているという意見が出された。
- ・また、公園自体に関しては、子どもたちが遊んでいる姿が減ったという共通の問題意識があり、子どもが外で遊びたくなったり、自由に遊べたりする仕組みや設備を整えることのほか、雨や猛暑など天候に関わらず遊べる魅力的な屋内施設の整備や、外に出たくなるようなポイント制度の創設といったアイデアが出された。
- ・大和市の魅力的な施設としてシリウスが挙げられ、同時に今回の会場となったポラリスも積極的に利用していきたいとの声があった。
- ・具体的には、主に中高大学生を対象に様々な職種に就く社会人から、働く現場のリアルな話を聞くイベントを開催するというアイデアが出された。学校では学べない、ネットでは分からないことを聞く機会を設けることで、自分のやりたいこと、目指したいことを考えるきっかけにできると良い、というアイデアが出された。
- ・一方で、現役の学生にとって、シリウスは勉強をするための場所という印象が強いため、シリウスやポラリスを超えるような、学生が何度も訪れたい大和市ならではのテーマパークがあるとよいのでは、というアイデアが出された。
- ・地域コミュニティの面から見ると、子どもとその親が地域とふれあう機会が少なくなっていることが課題として挙げられた。自治会活動など大人中心の行事にも子どもが遊びの一環として参加できるよう、楽しんでもらえる工夫をし、親子で地域に関わるきっかけづくりになると良いとの意見や、子育て支援団体がしっかりと地域に認知されるような交流の機会が必要との意見が出された。
- ・最後に市内の中学、高校については、部活の種類が少ないという課題が挙げられた。子どもたちのやりたいことができる環境を整えることで子どもたちも学校も生き生きできるのではないかと、また、民間と連携してはどうかなどのアイデアが出された。

id	課題・資源（論点・個別意見）	解決アイデア（短冊・個別意見）
例	<p>課題（◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、●2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）</p> <p>・個別意見</p>	<p>解決アイデア（シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）</p> <p>・個別意見 (以下、同様)</p>
1	<p>遊具が危険なものとして撤去されてしまう（◎1人、●2人）</p> <p>・昔あった遊具を増やしたい</p> <p>・シーソーやぐるぐる回る遊具など昔遊んだ遊具がちょっとの危険で撤去されている</p>	<p>遊びに行きたくなくなるような遊具を公園に設置し、天候も気にせず安心して遊べる場所をつくらう（シール投票数5票）</p> <p>・全部のコミュニティセンターをまわってポイントを貯めるとお菓子などと交換できる、雨の日ポイント制度をつくる</p>

	<p>無料で遊べるアスレチック施設がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料の施設はあるが、無料で遊べるアスレチック施設があると良い <p>公園で遊ぶ子どもが少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園は多いが遊んでいる子どもが少ない ・家族だけだと、他の子が何人かいると一緒に遊べる <p>雨の日に遊ぶ場所が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> →昔は雨の日だからこそ、雨の日でも遊ぶぞと仲間づくりをしていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・多少のケガは良い ・猛暑でも安心して遊べる場所の確保 <ul style="list-style-type: none"> →ミストなどほしい →水場がなくなってしまった ・雨でも遊べる場所がほしい ・新しい遊び道具・物があると良い <p>ログハウスなどに木製の遊具や遊び場があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ログハウスの中にアスレチックみたいな遊び場があると思いきり、生き生き遊べる <ul style="list-style-type: none"> →施設が遠くても駐車場が充実していると行く <p>泉の森で作品づくりができると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石に絵を描くなど泉の森で作品づくりができると良い
2	<p>ボールが使える公園がない (●1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は道路で遊んでいた ・ボールで遊べるところが少ない ・なぜ禁止かわからないが、公園の花壇を守るために禁止になったと聞いたことがある 	<p>柵をつけるなどして、ボールで遊べる公園を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールで遊べる公園を増やす
3	<p>子どもに社会やリアルな職業を伝えたい</p>	<p>ポラリスやシリウスを会場に、子ども向けに社会人の失敗談・経験談の“生の声”が聞けるゲストティーチャーイベントをやる (シール投票数9票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会・リアルな職業を伝えるゲストティーチャーがいると良い (◎3人、●2人) ・対象は学生だが、徐々に興味・関心のある大人にも広げていく ・普段聞けない人にネットでは教えてくれない、実際のリアルな仕事現場の失敗談を聞く ・シリウス・ポラリスで開催するなど既存の施設を活用できると良い <ul style="list-style-type: none"> →年齢や職業など関係なく、例えばサラリーマンなどからも生の声が聞けると良い ・会社と連携して社会人のゲストティーチャーを迎えて授業をする <p>子どもも大人も一緒に職業体験できる場があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業を体験できる場所で大人も生き生きとやりたいことが見つけ、自立できるようにする <ul style="list-style-type: none"> →市として手助けしてほしい <p>中学生・高校生くらいの年齢で一人暮らし体験ができると良い</p>

4	<p>地域とのふれあいが少ない</p>	<p>自治会活動など大人の行事にも子どもが遊びとしてお手伝いしてもらえると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人のイベントにも子どもを巻き込んで、お手伝いから遊びへと変えられるようなことをすることで、まちもキレイになり、自分も楽しい →ゴミ拾い、落書き消しなどまちのお掃除をする →民間の団体、町会、ボーイスカウト、消防団と一緒に活動する <p>子育て支援の団体との交流を増やせると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援している地域団体との交流機会を増やしたい →見守り <p>両親の退社時間を早くできると良い (●1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退社時間が早くなれば両親で地域とのふれあいがもてる →親と子にゆとりができ、地域とつながることができるため親同士もつながることができる →ニュージーランドは退社時間が早く年収は低いが、幸せ
5	<p>大和市ならではのテーマパークがほしい (●3人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークが必要 ・また行きたいと思える場所がない ・学生にとっては勉強の場ではない <p>シリウスは市外の人が多く市民が利用できない</p>	<p>既存の施設 (シリウス) を地域資源として活用しつつ、魅力も高めつつ、シリウス超えのテーマパークをつくり、市民がワクワクして使える場所をつくらう (シール投票数9票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクションマッピングを実施し、魅力を高める ・また行きたい場所をつくる ・シリウスを超える施設ができると良い ・おしゃれでインスタ映えする場所は思い出として残る ・緑を活かしたい
6	<p>部活の種類が少ない (●1人、●2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活の種類を増やしたい →文科系の部活や弓道部がほしい ・民間との連携ができそうだが、お金の問題がある 	<p>民間と連携して部活の種類を増やし、子ども達のやりたいことを実現できる生き生きした学校をつくらう (シール投票数9票)</p> <ul style="list-style-type: none"> →学校としても生き生き →子どもたちに自分のやりたいことをやってほしい
7	<p>危険な看板が多い</p> <p>街灯が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> →震災後、計画停電で薄暗くなってしまった 	<p>治安が良いまちにする (●2人)</p>

●作業シート



■グループ2 地域ぐるみで子どもを育てるまち

●議論の流れ

- ・地域ぐるみで子どもを育てるまちになるためには、まずは地域の信頼できる人や場所に子どもを預けられる環境が大切であるとの意見が子育て世代の方からあった。
- ・一方で、子育て世代と地域とのつながりが希薄化していることが課題として挙げられた。例えば、大人から子どもに声をかけづらくなっていることや、時間がある高齢者が子育てをお手伝いできたとしても、子育て世帯の困りごとを共有する方法がないことが課題として出された。
- ・市から一方的に子育て情報を提供するだけでなく、地域の人々が意見交換できる場や機会を通じて、困った時に地域で孤立せずに助けを求められることが大事という意見が出された。
- ・具体的な解決方法として、子育てをしている人から高齢者まで多様な人々を含む、4～5世帯ごとの多世代の班をつくり、情報交換を行うとともに、班対抗のイベントなどで交流を深め、世帯の孤立を解消するというアイデアが出された。
- ・さらに、空いている時間や得意なことなど、地域の資源を共有する仕組みがあると良いとい

う意見が出され、地域の情報をテレビチャンネルで発信することで、誰もが見られるようにすることのほか、子育てに特化した人材バンクの仕組みをつくり、スマートフォンで見られるようにすると良いというアイデアが話し合われた。

- ・次に、地域資源として、自治会の活動が活発であることが挙げられ、地域ぐるみで子どもを育てるうえでは、自治会が果たす役割は大きいことから、最大限に活用し、地域に顔見知りを多くつくることが大切という意見が出された。一方で、自治会活動に関わる若い世代が減っていることが課題という意見もあった。
- ・防災という切り口からは、防災訓練などの既存のイベントの中でコミュニティ内の信頼関係をつくることで、緊急時の不安解消にもなるのではないかと、という意見もあった。また、これまで参加したことがなかった人にも参加してもらえるよう、開催機会を増やしたり、集まりやすい場所で開催したり、またはターゲットを絞って周知したり等といった工夫が求められた。

id	課題・資源（論点・個別意見）	解決アイデア（短冊・個別意見）
例	<p>課題（◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、●2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）</p> <p>・個別意見</p>	<p>解決アイデア（シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）</p> <p>・個別意見 (以下、同様)</p>
1	<p>空き時間や得意なことを地域の資源として生かせるが良い</p> <p>・近所をひとつのコミュニティとして、子ども・時間などを共有財産として管理する</p> <p>・自分にできることがあれば手伝いたいと思っている →手伝いたい！と思っても共有できない</p>	<p>市が大和市専用のテレビチャンネルや人材バンクなどの仕組みをつくり、地域ごとに情報を発信・共有しよう（シール投票数8票）</p> <p>→大和市専用のテレビチャンネルをつくるなど、今とは違う新たなアプローチが大切</p> <p>→スマートフォンで見られる地域人材バンク</p> <p>→できる人！必要な人！のマッチング（買い物・家事など）</p>

		<p>コミュニティテレビを通じた地域の情報発信</p> <p>子育てに特化した、スマートフォンで見られる人材バンクがあると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> →コミュニティセンターに掲示板があると良い →高齢者も使えるよう、スマートフォンの使い方を教える講座などもあったと良い
2	<p>子どもは「あいさつしなさい」と言われる一方で「知らない人には声かけるな」とも教えられているので、困る (●5人)</p>	<p>返事がなくても大人がめげずにあいさつするべき！</p>
3	<p>地域に顔見知りがない</p> <p>大人から地域の子どもの気軽に声かけできない (●2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ないことを実感 ・気軽に声をかけにくい ・今だったら子どもを育てられるか分からない 	<p>安全・安心で信頼できるコミュニティをつくるため、自治会等による防災訓練の情報発信や開催方法を工夫する (シール投票数6票)</p> <ul style="list-style-type: none"> →開催機会を増やし、働いている人も参加しやすくする →ターゲットを絞るなど、面白いアナウンスをする →自治会に関わりがない人も参加できるようにすると良い <p>防災を切り口に地域の信頼を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> →防災訓練を活用して機会を増やす →集まりやすい場所 (シリウスなど) で開催する →主催者はターゲットを絞るなど、アナウンス方法を工夫する！ (例：友達募集している人、ゴルフ好きな人) <p>今ある仕組み・コミュニティを活用し、自治会と仲良くなって顔見知りをつくる (◎2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会を利用する →回覧板で自由に情報共有できると良い →必要！と思う人とできる！人をマッチングする
4	<p>子育て世帯の孤立が心配 (◎1人、●4人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市からの案内を一方的なものにするのではなく、意見などをもっと吸い上げるようにする →困った時に孤立せず、助けを求められることは大事 	<p>4～5世帯ごとに多世代の班をつくり、班対抗イベントなどで交流を深め、情報共有し信頼を築こう (シール投票数1票)</p> <p>4～5世帯の小さい単位で班をつくり、仲間と交流を深める (●1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代で「大和市五人組」のようなものをつくり、情報共有を密にする ・各学区で構成される班同士の交流を活発にすることで住んでいる人を知る →班対抗バトル →地域ごとに連絡できるグループをつくる

5	<p>信頼できるところに預けられることが大事 (◎3人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での子育てについてプログラムなどをつくる <p>子育てを手助けするシッターのような仕組みがあると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアのシッター育成 ・子育て家庭を見守れる地域環境をつくる →緊急の時も駆けつけてくれる <p>保育の担い手が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> →給料が少ない 	<p>短い時間でも子どもを見られる保育士アルバイトの仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士短期アルバイトを活用する（時給制で子ども2時間預けられる） →時間のある高齢者が子どもの見守りをアルバイトでできるようにする
6	<p>登下校の防犯・不審者が不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で学校帰りの生徒が安全に帰宅できるように、遊び場や不信者対策を改善する →見守り隊があるが実施時間などわからない →塾帰りで23:00になるなど夜が遅い →不審者の情報だけで終わってしまうが、対策の情報ほしい 	
7		<p>30人くらいのコミュニティで生活する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的には30人ほどでひとつの生活にする。保育係、食事係、洗濯係などに分担することにより効率化を実現できる

■グループ3 地域ぐるみで子どもを育てるまち

●議論の流れ

- ・最初にテーマ「地域ぐるみで子どもを育てるまち」について、気になることを出し合った。地域ぐるみの取組として、「挨拶、声かけ」の大切さが話された。子どもへの声かけと同時に、子育てで疲れている保護者への声かけも大切なのではとの意見が出た。
- ・また、「公園はたくさんあるが、そこでのイベントが少ない」「コミュニティセンターを交流の場としてもっと活用できないか」「地域のお祭りにどうやったら参加できるのか」など、地域で人と人が出会うきっかけがわからないという課題が出された。
- ・その他の課題としては「外国人、単身者が増えてきており、地域のコミュニケーションがうまくいかないことがある」、「子どもが外で遊ばなくなっている」、少子化の根本的な原因として「未婚者が増えている」などの課題が出された。
- ・次に、課題を見ながらシール投票を行い、重要度の高いものから解決アイデアを出し合った。
- ・「お母さんに声かけが必要」との課題に対して、まちで見かけた親子に声をかけ荷物を運んであげているとの話が出たが、一方で通りすがりの人に声かけするのはハードルが高いという話が出た。
- ・そこで、顔見知りになるきっかけがあると良い、そのために地域でもっとイベントができない

かという話に発展した。しかし、騒音や食中毒のリスクがあるという理由で、「餅つきや盆踊りを開催する地域が減っている昨今、誰が何をするのが問題になる」、「自治会館を開放するので地域でイベントをやらないか」と話し合ったことがあったが、PTAから「誰が運営するのか（自分たちはできない）」と反対を受けた、など地域の实情について話題提供があった。

- ・そこで、予算があまりかからず、リスクが少ない交流イベントとして、「ラジオ体操」はどうかというアイデアが出された。「ラジオ体操」も騒音の苦情が出ることがあるので、市が「大和市はラジオ体操で地域交流づくりをします」などと宣言し活動をバックアップしてくれると良いというアイデアが出された。
- ・ラジオ体操のほか、コンサートの開催や、高校生、高齢者が子どもに勉強などを教える場づくりなどのアイデアが出た。運営主体のイメージについては、コミュニティセンターの運営母体や寺子屋の活動の中で実施することも検討したが、いずれも活動趣旨から外れるため、行えないことがわかった。「行政の仕組みに頼るとタテ割になってしまう。地域を中心に考えると自治会が主体で取り組まざるを得ないのではないか」という話が自治会の関係者から出され、自治会主体で実施するイメージで意見を出し合った。

id	課題・資源（論点・個別意見）	解決アイデア（短冊・個別意見）
例	<p>課題（◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、●2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別意見 	<p>解決アイデア（シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別意見 <p>（以下、同様）</p>
1	<p>子どもの見守り、登下校の挨拶が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人で子どもを見守る（交通事故、防犯など）（◎1人） ・子どもにあいさつをする（○2人） ・登下校時の旗振りを父兄が実施しており、地域ボランティアが不足している ・「余計なおせっかい」と思わず、危険なことは注意する。今は遠慮してしまって言いづらい 	<p>自治会館を拠点にして、自治会で地域交流活動しよう（シール投票数15票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子ども、高校生、高齢者、みんながふれあう場をつくる ・具体的な活動イメージとして、「子ども食堂」「学習」「屋外学習」「コンサート」「あいさつ運動」「ボランティア募集」「ラジオ体操」など ・高齢になると、してもらうことばかり考えていたが、高齢になってもできることはある
2	<p>地域交流のきっかけが少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんある公園を活かしてイベントを開催して欲しい。ナイトウォークを楽しみにしており、このようなイベントがもっとあると良い（◎2人○2人） ・地域のお祭りに、老若男女が参加できる行事があると良い ・地域のお祭りに参加して良いのかどうかわからない →案内を出しているが、見ていないと言われてしまう ・地域のお祭りはあるが、顔見知りまではなれない 	
3	<p>単身者や外国人をはじめ、地域での交流のきっかけが少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が通じない外国人の増加（○1人） ・案内が読めなかったり、ゴミのルールがわからなかったりして、地域で問題になることがある 	
4	<p>地域イベントの実施は、様々なリスクがあることや人手不足の問題から難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音や食中毒のリスクがあるとの理由で「餅つき」や「盆踊り」を開催する地域が減っている ・自治会館を開放するので地域でイベントをやらないか」と話し合ったことがあったが、PTAから「誰が運営するのか（自分たちはできない）」と反対を受けたこともあった 	<p>子どもと地域のかかわりを増やすため、各地でラジオ体操を行うことを、市で応援・宣言してもらう（シール投票数5票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操は、予算があまりかからず、リスクが少ない交流イベントになり得る。ただし、騒音の苦情が出ることもあるので、市の応援が必要 ・実施の際は、子どもと交流できるように工夫する。例えば、スタンプ係や見本係などの役割をつくることで、話すきっかけになる ・どこの地域から来たか分かるような表をつくり、参加時にシールを貼ることで話のきっかけをつくり、交流を促す
5	<p>コミュニティセンターを交流の場としてもっと活用できないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターのような、外でも中でも遊べる施設を増やすべき ・コミュニティセンターは小学校区に1つあるらしいが、知らない人もいる 	<p>コンサートを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加高校生の高校は、マンドリンが有名のため、コミュニティセンターを会場としてコンサートを行ってほしい

		<p>多世代がふれあえる場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生や高齢者が、子どもに勉強を教える。やりたい高校生はいると思う ・ここで出会うことで、まちで会った時に挨拶できるようになる
6	<p>お母さんにあたたかな声かけが必要 (●2人○3人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷物を持ちながら子どもを見るのは大変 ・疲れている母親にあたたかな言葉を 	<p>疲れているお母さんにやさしい言葉をかけ、手伝おう (シール投票数2票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「手伝いますか」と声をかける。断られることもあるけれど ・いやな顔をされても、めげずに声かけをする ・電車の中、エレベーター、エスカレーターなどで、声かけする。電車の乗り降りの時、ベビーカーをちょっと持ってあげる ・母親が荷物を持っていて子どもの手を引けない状況の時、子どもと一緒に移動してあげる ・手伝えることを行う。必ず笑顔で、やさしく
7	<p>根本的な問題がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが外で遊ばなくなっている (○2人) ・大和市に山、海がない ・30代の男性の半分、女性の1/3が結婚していない。地域での対策はないのか ・高齢化が進んでいる 	

●作業シート

やまと市民討議会 2019.8.3

地域ぐるみで子どもを育てるまち

大人のみなさん、
登下校あはつはせ

大人
目覚まし
見守り
(交通 犯罪)

登下校時の
見守り
地域
地域の子育て支援

毎日

子供に
あはつはせ

余計な事
は聞かず
必要な
事は指導

お母さんに声かけが必要

荷物と子どもを...
階段と子どもと一緒
移動する

ベビーカーを
おちこちと
電車

手紙...
お母さんに
声かけ

イベントが
あると
交流の
きっかけ

自治会
声かけ運動

もろつき
盆あどり]減った

自治会館 開放とか
→ だてに 運営とか
お母さん反対

ラジオ体操 100人!
子どもと高齢者
住んでる場所

原っぱ虫とり
あひ かわ
自然科学部

公園は
お母さん
お父さん
おじいさん
おばあさん
お孫さん
おひいさん
おひいさん

公園は
お母さん
お父さん
おじいさん
おばあさん
お孫さん
おひいさん
おひいさん

公園は
お母さん
お父さん
おじいさん
おばあさん
お孫さん
おひいさん
おひいさん

公園は
お母さん
お父さん
おじいさん
おばあさん
お孫さん
おひいさん
おひいさん

外国人
単身者
この
コソカ
アハリ

言葉が通じ
外国人の増加

単身者
アパートの増加

根本的な問題

2019の男性
女性
高齢化

山・海
大和

コソカ
活用

マドリ
コンサート

3.4あいの場
高校生
高齢者 ⇒ 子どもに教える

子ども → 高齢者に
教える

自治会主催 自治会館

PTA

ラジオ体操
おじいさん
おばあさん
お孫さん
おひいさん
おひいさん

子ども食堂
学習
時々コンサート
時々屋外学習
あいの場

■グループ4 仕事と子育てが両立できるまち

●議論の流れ

- ・はじめに、仕事と子育ての両立には、行政の施策だけでなく、家庭や職場の環境も大きく影響することが話された。
- ・子育てを終えた方の実体験として、家庭内で役割分担についてしっかりと話し合うことや、家族で協力することが大切という話が出された。
- ・併せて、職場の理解や環境改善も重要な視点であり、時代の流れと共に、育休の取得や時短勤務の活用を推奨する企業や、テレワークを導入している企業が増えている。しかし、制度を使うことで、会社における評価がマイナスになり、キャリアを諦めてしまうという実態があるようだ。
- ・行政として家庭や職場には介入することは困難だが、意識啓発や相談窓口の設置など、間接的な支援が求められているのでは、という話になった。
- ・また、夫婦ともに仕事と子育てを両立しようとすると、時間や心の余裕が足りなくなるという

- 課題も出され、家事や育児のアウトソーシング化が求められているのではないかという意見があった。具体的には、既存の制度であるファミリーサポートをもっと使いやすく、充実したサービスとするほか、保育園などの託児施設における開所時間などで柔軟な対応が可能になると良いという意見が出された。
- ・さらに、子どもを安心して預けられる場として、子育ての終わった家庭や児童館、各小学校の放課後児童クラブの場を活用し、地域のお年寄りや学生の協力を得ながら、臨機応変に時間や曜日気にせず利用できる場があると良いというアイデアが出された。
- ・そのほかにも、病児保育などの緊急の対応が求められた場合に、時間のある人が代わりに保育園に迎えに行けるようなサポートや、仕事と子育てを両立させている家庭に助成金を出すなど、大和市独自の制度を創設するといったアイデアも出された。

id	課題・資源（論点・個別意見）	解決アイデア（短冊・個別意見）
例	<p>課題（◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、●2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）</p> <p>・個別意見</p>	<p>解決アイデア（シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）</p> <p>・個別意見 (以下、同様)</p>
1	<p>家事、仕事、子育てのバランスをとることが大事（◎3人、●1人）</p> <p>・両立の線引きが分からない</p> <p>・女性が働くことが両立なのか</p> <p>・男女雇用機会均等法を遵守する →子育て機会も均等になる</p> <p>・家庭内の役割分担</p> <p>・なぜ両立が必要なのか</p>	<p>家庭内での話し合いや役割分担を大前提として、家事などの作業を棚卸し振分けよう。子どもの気持ち、愛情もしっかり考えよう</p> <p>・家庭の育児を含めた業務の棚卸しと明確な振分けを行い、認識を合わせる →家庭内でも役割分担が大切 →分業してバランスをとろう</p> <p>・行政の支援策としては、意識啓発や相談窓口の設置が考えられる</p>

	<p>→家庭内での意識合わせが大前提</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕食、翌日の弁当の準備などの家事が大変 ・両立させる必要性としては、経済的な理由も大きい ・性別の関係上、お互いにできること、できないことがある <ul style="list-style-type: none"> →お母さんしかできないことがある ・女性の社会進出はメリット・デメリットがある 	
2	<p>ベビーシッターを利用して子育てをアウトソーシングできることが大切 (●1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てのアウトソーシング (ベビーシッター) 	<p>両立するためにはアウトソーシングも必要になるため、市のファミリーサポートをもっと活用できるように、使いやすく改善しよう (シール投票数5票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会と連携し、高齢者や学生にも手伝ってもらいながらメンバーを拡充する ・ファミリーサポート自体を知らない人も多いため、シニアが閲覧しやすい媒体を使って宣伝や情報発信を徹底する ・会社がファミサポ費用を助成すると良い ・自分の祖父母にアウトソーシングすることが基本
3	<p>ファミリーサポートの担い手が足りない (●1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートを活用したいが、制度を知らない人が多い・ファミリーサポートの業務やリソースを拡大し、より広く周知する <ul style="list-style-type: none"> →条件を緩和し、情報を充実させる (募集しているかわからない) →周知されていない 	
4	<p>遅い時間や長期休暇中の子どもの預け先に困っている (●1人、●1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日や時間が限られており、特に夏休み、冬休み、春休みに小学生を安心して預けられる場所が近くにない <ul style="list-style-type: none"> →曜日や時間を気にせず預けられる場所がほしい ・遅い時間まで預けられる場所がない ・開所時間について保育園が柔軟な対応をしてほしい 	<p>保育園が中心となり、曜日や時間を気にせず子どもを預けられる場づくりを考えよう (シール投票数8票)</p> <p>①子育ての終わった家庭、②児童館、③各学校の放課後児童クラブなどの民間の施設も活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールで緊急連絡の対応ができるように簡単な連絡網をつくっておく ・週1～2日定期契約して預けられれば、その日だけ働くこともできる <p>今ある施設と共に民間施設も活用して預けられる場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館の開館時間を延長する ・各学校内に放課後児童クラブ (1年～6年まで) をつくる ・子育ての終わった家庭を利用して子どもを預けられる場をつくる ・民間団体に委託して、有償で小学生を放課後18:00くらいまで預けられるようにする ・市内公共施設の開館時間を延ばしてほしい <p>学校を子どもの預け先の拠点とし、自治会、高校生などがサポーターとして協力する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会と協力して高齢者に協力してもらおう ・学校で預かるシステムをつくる ・学生は勉強を教える <ul style="list-style-type: none"> →高校生のアルバイトでも良い

		<p>保育士の給料アップと待遇改善が大切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、保育士の業務範囲や業務時間が拡大しているが、保育士のモチベーションの維持も重要 ・ 保育士の給料が上がらないと人が集まらない
5	<p>子どもが病気の時に仕事を休みづらく、保育園などに行けない時が大変（◎1人、●3人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが病気になる（病児保育の充実） ・ 子どもが病気でも親は仕事を休めない ・ 災害・感染症で学級閉鎖が起こる ・ 子どもが病気などで保育所・幼稚園に行けない時に、見てくれる人や施設があるのか <p>→プレッシャーがあると子育てに不安を感じる</p>	<p>緊急時には市の職員が代わりに保育園に迎えに行けるような、「緊急時の大和市サポート」のようなシステムを導入できると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時の“大和市サポート”のようなシステムを導入してほしい →緊急時は迎えに来て欲しい ・ 大和市の職員や信頼できる人が無理のない範囲で代わりに迎えに行けるような仕組み
6	<p>子どもを引き取る時間に会社を出づらい（●3人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを引き取る時間に退社できない ・ お迎えのために朝早めの時間に出社している ・ 仕事が忙しくて時間がない <p>在宅ワークが普及せず、職場の中で制約が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅ワークや内職が普及していない →評価や管理が難しいため実施しづらい →制約が多い →社内の文化を変えることが大切 <p>繁忙期と重なると特に辛い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決算期やその他の土日勤務などがある場合は難しい 	<p>子育て世代の努力だけでなく、管理職を「イクボス」に意識改革するなど、職場の働き方改革が推進されることが大切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場の環境改善と理解が大切 ・ 職場が子育てに協力的であること ・ 男性が（女性も）育休を取りやすい環境づくりが大切 ・ 子どもと行事に参加したい ・ 出産の予定を職場に伝える（出勤できない日があることを伝えておく） →「イクボス」制度、フレックス制度の導入 →制度を使うとキャリアを諦めることにもなりかねない →仕事のやり方も大切
7	<p>経済的に余裕があることが大事（◎1人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お金が足りない →家庭によって両立の考え方が違うので意識を合わせる 	<p>大和市独自の助成金を新たに創設する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大和市限定で助成金のシステムをつくる ・ 教育費を助成してほしい
8	<p>親の時間のゆとりが足りない（●2人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分（親）の時間がほしい（自己啓発・気晴らし） →リフレッシュの時間が大切 →専業主婦もリフレッシュしたい 	

■グループ5 仕事と子育てが両立できるまち

●議論の流れ

- ・ 企業では、働きながら子育てをする人などを支援する制度として、フレックスタイム制や産育休などの制度が整いつつあるが、活用されていないという課題が出た。
- ・ 背景として、仕事はお金を稼ぐためだけでなく、自己実現のためでもあることや、「男が働き、女性が家事をする」という固定概念がいまだにあることも要因だという意見が出された。そうした固定概念は、徐々に変わっていくという意見がある一方、高校生など若い世代の一部でも固定観念を持つ人がいるという実情も紹介された。固定観念を変えるためには男性が家事をする姿をもっと見せていくべきという意見が出た。
- ・ 母親がストレスを溜めていると、それが歪みとなり虐待などへつながるという課題が出された。当日の資料で実態は示されなかったが、市担当者より、事件には至らなくても、近所の方からの通報などはあるという情報が提供された。
- ・ 働く母親のストレス低減策として、子ども連れでも罪悪感なく安心して過ごせ、夕食が食べられるカフェを増やすことや、市がカフェのチケットを配布して母親が一息つけるようにすること、子育てフェアの一環で、ファミリーレストランで子ども連れの母親同士がおしゃべりできる場をつくるといったアイデアが出された。こうした施策があると、母親も休んでいいよ、という市からのメッセージにもなるという意見が出された。
- ・ 地域で子育てを支える施策として、自治会を活用して、ご近所の方一人ひとりが得意なこと(勉強、食事、子どもの預かり)を活かして子育てを支えられる仕組みをつくる、というアイデアが出された。地域で子育てを支える取組を通じて高齢者が活躍できるきっかけになるのではないかという意見が出た。自治会は高齢化が進み、新しい取組ができない状況であるため、初動期に市からのサポートとして市民討議会のような場を自治会単位でも導入し、実現につなげられると良い、というアイデアも出された。
- ・ 子どもが安心して過ごすためには、可能な限り親族が預かる方が良いだろうという意見がある一方、親と子どもだと甘えが生じることで、かえって家族間でもめるといった意見や、第三者の方が割り切って頼みやすいといった意見も出された。
- ・ 教育費の負担を軽減できるよう、ボランティアで学習塾を運営するというアイデアが出された。異年齢のコミュニケーションがとれる場として発展する可能性もあるとの意見も出た。
- ・ その他、子どもが安心して過ごせる環境があることで親は安心して働くことができることから、学校や保育園に医療従事者を常駐させることや、子ども見守りキャンペーンをPRすることで市民に市内の見回りを促すといったアイデアが出された。

id	課題・資源（論点・個別意見）	解決アイデア（短冊・個別意見）
例	<p>課題（◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、●2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別意見 	<p>解決アイデア（シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別意見 <p>（以下、同様）</p>
1	<p>子どもと一緒に安心して食べられるカフェがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも安心して食べられる食事を提供するカフェ ・ファストフードなどでなく、子どもに食べさせても安心な食事を提供してほしい ・夜遅くならずに食べられる ・家で食事ができない日に、外で子どもと食事をしていると何となく罪悪感がある <p>自治会を有効活用（●2人、◎1人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事を提供できる場所づくり ・自治会を有効活用し子守りや料理などをしてほしい ・自治会が小学校ごとにあると活用しやすい ・自治会、世代、家庭を越えた居場所がほしい ・現在の自治会は高齢化とともに加入率も低下しており、地域のつながりが薄れている。子育てをきっかけに新たに地域への関心や、つながりができると良い ・ご飯づくりであれば、私もできる。自分が子育て中の時は仕事で忙しく、子ども達と夕食をとることもなかったので罪滅ぼしの意味でも、みんなが喜ぶことをしたい <p>保育園で夕食を提供してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園で夕食を提供してほしい ・現在市内の認定保育園の約半数で、20時までの延長保育園児を対象に夕食を提供している 	<p>市のバックアップで自治会を活性化し、学生から高齢者まで負担なく一人ひとりができること（勉強、食事提供、子ども預かりなど）をしよう</p> <p>（シール投票数4票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会館を拠点として活用できる ・自治会の役員も高齢化し、新しいことに取り組みづらい。取組の立ち上げに当たっては、市にサポートしてもらいたい ・今日のような市民討議会を自治会単位で開催し、みんなでアイデアを出し合っていけば、メンバーも集まり、実行しやすくなる ・市全体で拠点を作るのではなく、ご近所単位であることで、顔見知りの関係が生まれやすい
2	<p>子どもの教育資金が負担（◎1人、●3人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育にかかるお金の問題を解決してほしい ・子どもの教育資金を捻出するために、両親が働かなくてはならない状況を勘案すると、既存の塾とは異なる学習の場は大切 	<p>学びに対するお金の問題を解決するために、子ども同士が互いに教え合う学習塾を開き、異年齢間の交流を深め、コミュニケーション能力も向上させよう</p> <p>（シール投票数2票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる学習塾の設置など ・教育系志望の学生が先生役になる ・高校生が中学生や小学生を教えることで、異年齢間のコミュニケーションになる。こうした機会を通じて、コミュニケーション能力の向上にも寄与する

3	<p>母親へのケアが必要 (●1人、●4人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親のストレス解消方法を確立するための仕組みづくりをつくり、虐待防止を図る ・母親のストレスが溜まることで、虐待などにつながる恐れもある。虐待のニュースなどをみると、大和市の実態はどうなっているのか心配だ ・以前、産婦人科で出産時にエステ券をもらったが、結局使わずに期限が切れてしまった。券などを配布する際はタイミングが大事だ 	<p>母親のストレスを解消しよう</p> <p>①里帰りがわりに利用できる施設の整備 ②カフェのドリンクチケットを配布する ③レストランでママたちが集まっておしゃべりできる子育てフェアを開催しよう (シール投票数 16票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつては、出産後里帰りして、ゆっくり身体を休めることができたが、今は里帰りできない人もいる ・何をやるということを決めずに、ゆっくり自由に過ごせると良い。赤ちゃんと一緒にいたい、離れて過ごしたいかもお母さんが自由に選べるとストレスなく過ごせる ・企業と連携し、カフェのチケットを配ってはどうか。「お母さんゆっくりして」という市からのメッセージにもなる ・レストランと連携し、子育てフェアのような機会を設け、子どもと一緒にいても遠慮せずに過ごせたり、お母さん同士でおしゃべりできたりするような機会をつくる ・子育てフェアのような場をきっかけに、つながりが生まれると良い
4	<p>子どもが安心して過ごせると、親も安心して働くことができる</p> <p>身近な親族が孫の面倒をみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもによっては、ひととき保育などになじまない場合もある。子どもが安心して過ごすために祖父母がサポートできるのであればサポートした方が良さそう ・親子だと甘えが生じて、逆にもめることも多い ・子育てのために、親を呼び寄せたが、親にとっては居場所がなく、難しいと感じた <p>市全体で子どもを見守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをみんなで見守ることで、親が安心して仕事ができるようにする <p>医療従事者が学校や保育園に常駐する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事に行っている間でも、安心して子どもを預けられる保育施設を整備するとともに、医療従事者を配置する ・家族が病気で常に薬を服用しているが、そのために修学旅行に行けなかった。医療従事者がいれば、そうした問題も解決できるのでは 	<p>子ども見守りキャンペーン (週間、月間) を設け、みんなで市内を見回って見守りの意識づけをしよう</p> <p>(シール投票数 1票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇月間のようにみんなで子どもを見守るような機会を設け、子育てに直接関わっていない人にも意識づけをする

5	<p>男が仕事、女が家事の意識を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男が仕事、女が家事という考え方を捨てる。そのことで、女性が働きやすい社会を作る ・男性の意識を変える ・子どもが生まれたりすることで、夫婦間での役割や内容は変わってくるはず 	<p>男性が家事をする姿を見せよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性が家事をする姿を見せることで、家庭内の意識を変える
6	<p>企業の制度が使えていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産休が使えてうれしかった ・フレックスタイム制を活用できたことはうれしかった ・最近フレックスタイム制を導入している企業が減ってきていると聞く。社員が必ずいる時間が短くなってしまうと、会議などを設定しづらいようだ ・仕事にお金を求めるか自己実現を求めるかは人それぞれである 	
7	<p>PTA 活動の負担を減らし、趣味などでつながる親同士のコミュニティがほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA 活動の負担を減らして欲しい ・千葉では、PTA 活動を全廃したという話も聞く。小学生になると母親の働き方なども多岐にわたるため、働く母親にとって PTA 活動は負担になりそうだ ・PTA は親同士のコミュニティだというのが、PTA=親同士の交流の場ではないはず。他にも趣味などで、つながる場や機会があっても良い 	
8	<p>子育てにすぐ役立つ情報がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事の軽減などの情報を SNS でチェックすることがあるので、同様に子育て中のママの知恵を共有できると良い。そうした情報があることで、気持ちが軽くなる 	<p>公共施設の混雑状況を WEB で発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポラリスやシリウスは、行っても混んでいるのかと思うと躊躇してしまう。市の WEB ではにぎわった写真のみ掲載されている。曜日や時間帯ごとの混雑状況を WEB で掲載していると、良いタイミングで子どもとサクッといける
9	<p>子育てへのハードルが上がっている (●2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てへのハードルが上がっているのではないか ・市の施策や設備は充実してきているのに、子どもの出生率が下がっているのはどうしてか ・家庭内、社会、世代間でのコミュニケーション不足を感じる 	<p>生涯学習の場の充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の場を充実させる。博物館をつくる ・博物館は年齢を超えて、学習する場になると思う。コミュニケーション能力の向上にも寄与するのではないか

●作業シート

仕事と子育てが両立できるまち

5
ひろ

制度使っている?

- 会社制度
 - 会社制度 ← フレックス 今お困りですか?
 - 会社制度は? フレックス入付 フォルダに入付
 - 会社制度は? 会社制度は? 会社制度は?
- 男性の育児休業
 - 男性の育児休業が 取れないのは 社会へ
 - 会社に育児休業が 取れないのは 社会へ
- 女性の育児休業
 - 女性の育児休業が 取れないのは 社会へ
 - 会社に育児休業が 取れないのは 社会へ
- 育児休業
 - 育児休業が 取れないのは 社会へ
 - 会社に育児休業が 取れないのは 社会へ

子育て・孫育て

- 祖父母が 負担を助ける
 - 祖父母が 負担を助ける
 - 祖父母が 負担を助ける
- 食生活
 - 食生活が 負担を助ける
 - 食生活が 負担を助ける
- 子育て問題
 - 子育て問題がある。 当然前にあります。
 - 子育て問題がある。 当然前にあります。
- 子育て世帯
 - 子育て世帯のために 来たのに居場所がない
 - 子育て世帯のために 来たのに居場所がない

PTA活動コミュニティ

- PTA活動
 - PTA活動の 負担が大きい
 - PTA活動の 負担が大きい
- お父さん・お母さん
 - お父さん・お母さん 交流できる場 PTA ではありません
 - お父さん・お母さん 交流できる場 PTA ではありません
- 子育て支援
 - 子育て支援の 負担が大きい
 - 子育て支援の 負担が大きい

子育て見守りボランティア

- 子育て見守りボランティア
 - 子育て見守りボランティア
 - 子育て見守りボランティア

働くお母さんの知恵

- 働くお母さんの知恵
 - 働くお母さんの知恵
 - 働くお母さんの知恵

5

■グループ6 子育ての不安を和らげる支援策とは

●議論の流れ

- ・はじめに、不安や心配事を気軽に相談できる人がいない、という課題が出された。背景として、出身地から離れた場所で暮らし、地域との関わりが少ない人が多いことが挙げられた。このため、身近に子育てに関する体験談を聞く機会が少なく、子育てが始まってからも感じた不安を相談できない状況から、余計に不安が膨らむのではないかという意見が出された。気軽に相談できることで解決できる不安もあれば、専門家に相談したい内容もあるので、いつでも専門分野別にアドバイスをもらえるような環境が整っていると良いとの意見もあった。
- ・また、子育て期には提出する必要がある書類が様々あるため、個人に合わせた申請期限スケジュール表などが提供されると良いとのアイデアも出た。
- ・相談という切り口から、乳児期の子どもに関する悩みだけでなく、思春期を迎えた子どもとの向き合い方を不安に感じるという話が出た。子どもの本当の気持ちがわからない、という親の不安に対し、既に学校にはスクールカウンセラーなどが配置されており相談機能があることや、電話やライン等で相談する方法もあるとの情報提供があり、個人情報やプライバシーを守りつつ、子どもが安心して相談できる場所が確保されていると良いとの話にまとまった。また、子どもの成長過程での情報を電子カルテなどで管理し、進学等で学校が変わっても、適切に情報共有される仕組みが整っていると良いという意見も出た。
- ・次に、ボール遊びを禁止している公園が多いことや、近くにゴミ捨て場がある上に暗い公園で子どもを遊ばせたくないとの課題が出た。子どもが安全に遊べる環境を維持できるよう、公園をよく利用する高齢者が協力して維持管理することで、見守りの目を増やすことができるというアイデアが出た。見守りをする対象については、見守る側がよく知っている子どもであるほど高い関心を持つことができるとの意見もあった。また、夏の暑い時期の公園については、ミスト散布や水遊び場、日よけの設置など、涼しく遊べる工夫があると良いとのアイデアも挙げた。
- ・子どもの遊び方について、家の中でばかり遊んでいると心配になるという話が出た。しかしながら、最近ではeスポーツなどゲームが仕事になることもあることや、周囲が特定の遊びを強制するのはおかしいという意見から、外遊び、内遊びに関わらず、様々な遊びに触れる機会が持てると良いとの結論に落ち着いた。
- ・子育てにかかる経済的負担の軽減策として、現行の第3子以降の制度では適用が少ないので、第2子以降から適用されると良いとの意見が出た。また、家庭によってニーズは様々なので、使い方を自分で選べる子育て応援券などの支援施策が充実すると良いとのアイデアが出た。

id	課題・資源（論点・個別意見）	解決アイデア（短冊・個別意見）
例	<p>課題（◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、●2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）</p> <p>・個別意見</p>	<p>解決アイデア（シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）</p> <p>・個別意見 （以下、同様）</p>
1	<p>相談ができない（◎2人、●2人）</p> <p>相談先が専門ごとに細かく分かれていると良い</p> <p>・相談先の明確化と専門スタッフの質の向上及び増員 →電話相談をしようとしたが夜中は電話がつかまらない →成長段階の悩みには専門家のアドバイスがほしい</p> <p>気軽に相談できる人がいない</p> <p>・身近に気軽に相談できる人が少ない ・経験者の話を聞く機会が得られない →親がわからないことだらけで不安 →思いつめている人が多い</p>	<p>乳幼児期～成長に合わせた悩みを相談したい親を対象に、様々な手段で細かなカテゴリ別の専門的な相談や気軽な相談ができる仕組みがあると良い。また、Web サイトでも Q&A・情報を閲覧できる（申請期限が載っているカレンダーなどお助けグッズも手に入れられる）</p> <p>（シール投票数6票）</p> <p>→頼れる人に話すことが大事 →話すことで冷静になれる →経験者の話をたくさん知っていると不安が和らぐ →笑いとはしゃもらえることで「皆そうなんだ！」と安心感が得られる</p> <p>電話・メールの方が対面より話しやすいこともある</p>
2	<p>親に相談してくれない子どもが心配</p> <p>・就学児以降を育てる家庭のための相談所がほしい ・他の子とコミュニケーションが取れているか心配 ・親に相談してくれない年頃もある（反抗期）</p>	<p>子どもが不安や悩みを保健室の先生やスクールカウンセラーに相談できる環境を整えよう（シール投票数2票）</p> <p>・保健室の先生は気軽に相談しやすい ・予約するスクールカウンセラーもいて、しっかり秘密を守ってくれる →よく知っている、信頼できる人の場合は対面で相談できる方が良い →担任の先生との二者面談もよい</p>
3	<p>子育て支援の情報をわかりやすく</p> <p>・支援の情報をもっとわかりやすくしてほしい</p>	<p>Web サイトを充実させ、スケジュールカレンダーなどを共有する</p> <p>・web サイトの充実（情報収集しやすく、Q&A など） ・助成などの申請期限のスケジュールカレンダーをつくる</p>
4	<p>子どもが安心・安全に遊べる環境が整っていると良い（◎1人、●4人）</p> <p>・子どもが遊べる施設を増やす →いざという時の逃げ道をしっかりつくる ・公園でボール遊びをさせたい →公園のルールが厳しい →外で遊びにくい →公園は親子の交流の場でもある ・環境整備（道・設備など） →犬猫のフンがある →公園が暗くて遊ばせにくい</p>	<p>シニアが公園や遊び場の維持管理にも関わり、子どもを見守ろう（シール投票数1票）</p> <p>・シニアが施設管理、見守りできると良い →防犯 →知らない子への関心は低い顔なじみだと見守れる！ ・高齢者との交流の場になる</p>

	<p>→公園の隣にゴミ捨て場がある</p> <p>→公園にトイレがないと使いづらい</p> <p>→公園がしっかり管理されていないと使い続けられない</p>	
5	<p>夏は外遊びするには暑すぎる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑い →夏でも外遊びできる環境を整えてほしい 	<p>ミストや水遊び場、日よけなど暑くても遊べる設備があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミスト ・水遊び場 ・日よけ
6	<p>年齢別の遊び場があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢別でわけた野外施設がほしい ・ボール、昔のおもちゃを設置する →興味の幅が広がる →今ある施設に追加する 	
7	<p>子育てにかかる経済的な不安がある (◎3人、●4人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っていることに対して経済援助・補助がほしい →一律の制度でなく本当に困っている人に援助が届くと良い ・子育てでの金銭問題 (成人するまで2千万かかるらしい) <p>教育費への不安がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育費に対してサービスは充実しているか →市民の負担が軽くなり、サービスの質が下がらない支援策があると良い →親に「お前にお金がかかってるんだ!」と言われると、自分に子どもができれば大変だろうと思う →経済的な不安や余裕のなさが子どもにしわ寄せがくる →お金があると可能性が広がる 	<p>乳幼児期の経済支援と、教育費への支援策を整えよう</p> <p>→第2子からの経済支援、ニーズに合わせて使える子育て応援券 (シール投票数 15 票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2子以降を育てる家庭に対する支援を強化したい →少子化 STOP! ・今は子どもが3人いる家庭は少ない、適用少ない →昔は5~6人が普通だった ・お金への不安が少なくなれば、子どもにかかる時間が増える ・子育て応援券のように、ニーズに合わせて使えると良い
8	<p>先生が一人ひとりの子どものことをよく理解できるとよい (●1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが物事に楽しんで取り組んでいるかわからない →小学校と中学校で一貫した教育プログラムができつつある →子どもの成長にしたがって親だけでは担いきれない →エリアで分かれている公立の良さを生かして、小学校から中学校へ進学した後のトラブル防止を図りたい 	<p>学校などが連携して子どもの成長を見守れると良い</p> <p>→電子カルテで情報共有する仕組みをつくり、学校同士が連携して子どもの成長を見守ろう (シール投票数 1 票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテで情報共有できると良い ・同じ人がずっと同じ子を見守れると良い (先生)
9	<p>歩道が狭く、段差があり安心して歩けない (◎1人、●3人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーが行き届いていない →でこぼこ道が多い ・交通量の多い道が怖い 	<p>バリアフリーが実現できる環境を整え、守れるルールづくりをしよう (シール投票数 3 票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道広げる ・守れるルールをつくらないと意味がない →自転車は歩道を走らざるを得ない状況

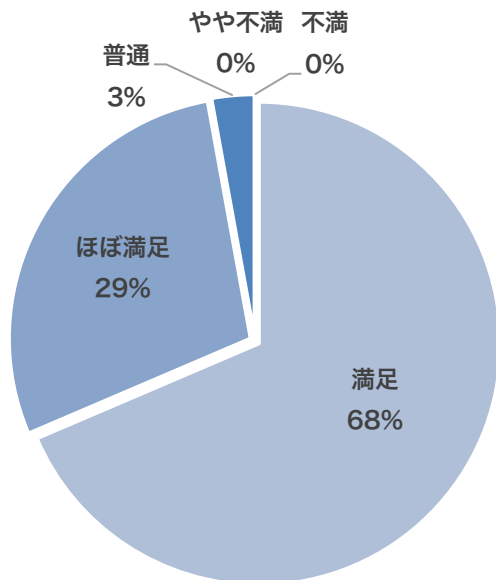
	<p>→ベビーカーを押すときに緊張感がある →ベビーカーが押しづらい →ベビーカーから赤ちゃんが飛び出してしまう。首が座っていないので危ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（通学時の）交通安全の確保 ・ルールを守らない自転車が多い →整備、ルールづくりが必要 <p>本当に困っている人が多機能トイレやエレベーターなどを使えていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に困っている人が多機能トイレなど使えるように！ ・多機能トイレが少ない ・エレベーターに鏡がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・かたちだけの設備があっても使いにくければバリアフリーではない ・バリアフリーは全世代にとって大切
10	<p>子どもの遊びが偏っている</p> <p>外で遊ばないといけないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドアな子は外で遊ばせた方がいいのかな <p>外でも遊ぼう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外に出ない子どもが多い 	<p>大人の得意や好きを伝え、色々な遊びに触れる機会をつくろう （シール投票数5票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の得意や好きを伝える ・最近eスポーツも広がっている →ゲームが仕事になる時代 ・色々なスポーツに触れる機会ができると良い

●作業シート



3. 参加者アンケートのまとめ

Q.本日の市民討議会はいかがでしたか？（満足・ほぼ満足・普通・やや不満・不満）



満足	24
ほぼ満足	10
普通	1
やや不満	0
不満	0
計	35

●具体的な回答 回答数：35（○：抜粋、・：いただいた回答）

○色々な声や意見を聞いて楽しく、勉強になった

- ・ 色々な声が聞けた
- ・ 自由な意見が活発に出ました
- ・ 生の声を知れるので有意義でした
- ・ 新しい情報収集ができた。他人の意見を聞けた
- ・ 多くの方の意見が聞け、大和市が大好きになりました
- ・ みなさんの色々な意見を聞くことができ、勉強することができた
- ・ 色々な人と色々なことを話しできて参考になりました。参加できて良かったです
- ・ 自身で考えもつかない発想や意見を聞いてとても勉強になりました。ありがとうございます
- ・ 普段この様な場に参加することはないですが、母になったことで参加してみました。色々な方の意見が聞いて楽しかったです
- ・ 1つのテーマに対して様々な意見や考え方があることに直面できて、意見交換する楽しみを感じました。より良くなりますように
- ・ 子育てが終わった者ですが、孫たちの問題もあり子どもたちの子育て働く時の問題点を知り勉強になった、力になれることがあったら協力していきたい

○自分の意見や感じていることを共有できて良かった

- ・自分の意見を言えた
- ・自分の意見を発信でき、また色々な方からの意見も聞くことができ参加して良かったです（施策の参考になる前提とのことだったので）
- ・普段思っていること、感じていることを発表でき、各世代で認識が共有できた
- ・自分の意見を発表することができた

○全員から意見が出て楽しかった

- ・どの討議でも全員から意見が出てとても楽しかった

○色々な世代の意見を聞いて発見があり、楽しかった

- ・色々な世代の意見・考えを知りました
- ・様々な年齢の方々と活発な意見が話し合えたため
- ・色々な層の方々の意見が出され勉強になりました
- ・様々な年代の方々と話す新たな発見が多くあり楽しかったです
- ・現在子育てしている方も含め、いろいろな年代の意見が聞けて良かった
- ・様々な世代の方と、初対面とは思えないほどたくさんの意見を交わし、大和市をよりよくするために考えられたから

○年齢等に関係なく発言しやすい雰囲気だった

- ・意見を年齢関係なく聞いてくださり、最初はうまく意見を述べられるか不安でしたが、真剣に聞いてくださったので学生の身としてはとても嬉しかったです
- ・色々な発言が出やすい雰囲気でした

○楽しく有意義だった

- ・とても楽しく有意義な時間になったと思います
- ・初めての参加、ドキドキ感からスッキリ感へ
- ・特別な体験ができて楽しかった

○普段考えないことを真剣に考えることができた

- ・ふだんあまり考えることのないことを深く考えられました
- ・人とまちについて真剣に話し合ったことがなくとても為になったから

○刺激を受けた

- ・脳が活性化された
- ・眠くなるかと思ったけどならなかった

○学生や若い人の意見に感心した

- ・ドキドキしながら楽しかったです。学生さんの若い力に感謝です

○すでに実施されている施策がわかり、感心した

- ・ 様々な意見を聴け、市や学校が今行っている対策がかなりあることに感心した
- ・ 市の施策が理解できた

○行政への満足度が高まった

- ・ 改めて大和市の魅力を知れたし行政に対する満足度も上がった

○実現される案の候補が知りたかった

- ・ いろんな意見があってよかった、ただ実現する候補が知りたかった

○出たアイデアが実現できると満足だ

- ・ 実現したら満足

○前向きで積極的な参加者が多かった

- ・ 自発的に参加されているので前向き、積極性のある方の集まりでした

Q.市民討議会での他のグループの発表をふまえ、追加したいアイデアや話し足りないことがございましたらお書きください。(抜粋)

●「子どもが生き生きと遊べるまち」に関すること 回答数：14

- ・ 遊具を増やす
- ・ 公園で元気に遊ぶ子どもたちが見れますように願います
- ・ 公園イベントを増やしてほしい
- ・ 新たなテーマパークを作り、子どもたちがたくさん遊べる環境作りをする
- ・ 遊び場は種類があって良い
- ・ 大型施設の中に、巨大アスレチックを用意する。その際床や壁を高い所から落ちても衝撃を吸収する素材を用意する
- ・ 天候に関係なく外に行けること
- ・ 小学生の遊べる遊具と小さな幼児が遊べる遊具の違いをしっかりと把握して、小学生の遊具を増やしてほしい
- ・ 子どもが生き生きするためにはまず親が生き生きしなくてはならない。親が生き生きするためにどうするか考えたい
- ・ 安心安全な街造りが前提でその為には治安の改善に力を入れてほしい
- ・ 地域ぐるみの子育て支援に取り組んで頂きたい
- ・ 子どもの未来、可能性をつぶさないために子どものやりたいことができる環境を！お金が原因にしない状態ができるよう市が働きかけてほしい
- ・ 子どもに考えさせてみる

● 「地域ぐるみで子どもを育てるまち」に関すること 回答数：13

- ・ 高齢化にともない、元気がなくなる地域。若い住人が地域に協力するためにどうするか
- ・ 自治会活動への再認識
- ・ 自治会に積極的に参加したい
- ・ 自治会だけでなく他の民間団体も関わり子どもたちを見守るまちにしたい
- ・ 高齢者でも元気な方もいらっしゃることから、その協力、活用と合わせての対策が良いと思います
- ・ シニアの方々もお役に立ちたいと考えている仲間が大勢いますのでご活用いただけたらと思います
- ・ 防災に関して、災害があった際の避難する場所を、子どもがいる方や老人などにふりわけて避難しやすい環境を整える
- ・ 地域なしでは子育てはムリ！
- ・ 近所の方々との信頼関係を築くために地域の方々に関わる取り組みを考える
- ・ 人と町がつながって子どもを見守っていくこと
- ・ 季節にあった行事を自治体ごとにやると交流できそう！（プール学習や雪合戦など）
- ・ 親の退社時間を早くする取り組みをしていただきたい
- ・ コミュニティーのあり方について話したりしない
- ・ グループワークの中で全て出し切りました！

● 「仕事と子育てが両立できるまち」に関すること 回答数：13

- ・ 男性にも育休が取りやすくなるようにしてほしい
- ・ 母だけでなく父子家庭のことをもっと話すべきだった
- ・ 子どものいる家庭にゆとりを持たせるために（精神面を含め）何ができるか具体的に、より検討を深められると良かった
- ・ 疲れているお母さんに（ストレス解放）やさしい声をかける
- ・ 子育てしている方々のストレス発散できる場をつくる
- ・ 自治会等、又シニアの活用により子育て中の親御さんを応援できる取り組みを
- ・ 預かってくれる所を増やす
- ・ 仕事をしている親御さんが安心して子どもを預けられる場所がほしい
- ・ 勤務時間が早く子どもと一緒にいる時間が大切
- ・ 仕事に何を求めるか
- ・ 一番気になる課題
- ・ 市としてできる制度の見直しをし、両立できる環境を整える
- ・ ファミサポを充実することで地域ぐるみの支援にもつながり、親の負担を和らげる支援策にもなると思う

●「子育ての不安を和らげる支援策とは」に関すること 回答数：12

- ・ 第2子以降への支援強化（加えて資金等を考慮しない理想の出産人数を調査）
- ・ 第2子以降でもお金の援助が受けられるようにして3人くらいの子どもでも育てられる制度を作ってほしい
- ・ 金銭問題（子どもを産むことに対して）
- ・ 経済的軽減策が有効だと思うが
- ・ 子どもにかかる医療費を軽減してくれるような制度づくりをする
- ・ 地域の安全性！が第一
- ・ 自治体、コミュニティのもっと活発化を！
- ・ 子どもの定義を考えてみる、幸せとは何か、考えてみる
- ・ なんでも相談できる場を増やしてほしい
- ・ 子育てを終えた（一人立ちされたお子様がいらっしゃる方）に相談センター（テレフォン）などの対応をしてもらい、愚痴等も聞いてもらう
- ・ 親と子どものケアが大切
- ・ インフラ面の話をもっと話したかった

●その他 回答数：8

- ・ 「子育て」となった場合、子育てをしている親だけを集めて討論会を企画してほしい
- ・ もっと具体的なテーマにしてほしい（例）・就学前の子どもを持つ親の意見交換回・公園の改善について
- ・ 全体的に具体性が足りない気がしました。意見をしばって深掘りしていった方が良かったかも
- ・ 行方不明者探し、サギ電話の注意→市内放送の活用という意見はアイデアだと思いました。放送の声が膨張してしまうのがネックです
- ・ 「実際に使いやすいバリアフリー」の実装。子育て支援等をまとめた「申請期日カレンダーの作成」
- ・ 子どもだけでなく独身の人にも税金使ってあげてください
- ・ 大和市に大学病院並みの病院をつかってほしい
- ・ 兄弟同じ保育園に入れてほしい
- ・ 初めて参加しましたがスムーズに話が進んで良かったです

Q.今回が 7 年目となるやまと市民討議会でしたが、このような取り組みへのご意見や、より参加しやすくなるための工夫・アイデアなどお気づきの点がございましたらお書きください。 回答数：24

○感想

- ・初めて参加しましたが次回も参加したい！と思うほど充実していました！ありがとうございました
- ・また参加させて頂けたら良いなと思います。ありがとうございました
- ・驚くくらいあっというまに終わりました。信頼関係を築く、しつこくても声かける、など、思いやり、優しさにふれることができ嬉しく思いました
- ・これからの社会を担っていく高校生が参加する、世代を超えた交流もいい機会になりました
- ・若い人、老人共々、共同の打合せ楽しかった！
- ・より市が良くなる気がして良かったです
- ・考えもしなかった着眼点を聞かせていただいてこちらの考えの幅も広がりました

○施策への反映に関する意見

- ・継続して頂き、施策に反映してもらえるものが一つでも多くあると嬉しく思います
- ・意見が現実になりますように

○市民討議会に関する意見

- ・市民全体からということも良いのですが、当事者を集めて話し合う方がもっと良い解決策が出てくるような気がします
- ・カテゴリー化し人数の調整をすると良いです
- ・今日、無作為に抽出でしたので、この方法で良いのかなと思いました。他に思い付きません
- ・（すみません）実施していることを初めて知りました。色々なテーマで様々な方が参加できたらいいと思います。事前にある程度アイデアを考えて持ってきてても良いのかと思います
- ・ワークショップといった場をもっと広げていけば、より参加しやすい
- ・市外や中学生など話し合いの幅を広げる
- ・この様な検討会へ参加された方より、参加を見合わせた方が「なぜ見合わせたのか」追跡確認いただけると良いと思います
- ・話し合う時間の方も長くしたらいいなと思いました
- ・テーマパークをつくるという意見は良かったと思います
- ・グラフのデータ（国勢調査等）をもっと広範囲でほしい、また、全員が読み込める様に当日に簡単な解説を入れた方が良いと思う

○広報に関する意見

- ・ 友達と一緒に参加するように呼びかける
- ・ 宣伝資料をより目を引くようなものにする
- ・ 活用状況を知ってもらうための広報活動
- ・ わりと私が知らないこと制度が多くて、よく広報を見ようと思いました。でも、市や行政に対してなんでも頼りすぎたりするのもどうかと思います。自分から調べたり考えることも必要です

○開催時期やアナウンス、会場に関する意見

- ・ 夏はやめてほしい。ポラリスまで来るのに疲れる
- ・ 机は足4つだけのタイプにした方が良いと思う

(アンケート調査票)

やまと市民討議会

令和元年8月3日(土)

参加者アンケート

●本日の市民討議会はいかがでしたか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

満足 ほぼ満足 普通 やや不満 不満

○その理由をお書きください。

--

●市民討議会での他のグループの発表をふまえ、追加したいアイデアや話し足りないことがございましたらお書きください。

「子どもが生き生きと遊べるまち」に関する こと	
「地域ぐるみで子どもを育てるまち」に関する こと	
「仕事と子育てが両立できるまち」に関する こと	
「子育ての不安を和らげる支援策」に関する こと	
その他	

●今回が7年目となるやまと市民討議会でしたが、このような取り組みへのご意見や、より参加しやすくなるための工夫・アイデアなどお気づきの点がございましたらお書きください。

--

ご協力ありがとうございました！

4. 市民討議会の写真



5. 大和市の子育てを取りまく状況

市民討議会の参加者の方には、市の子育てを取りまく状況や取り組み情報を事前資料として提供したうえで、討議会にご参加いただきました。

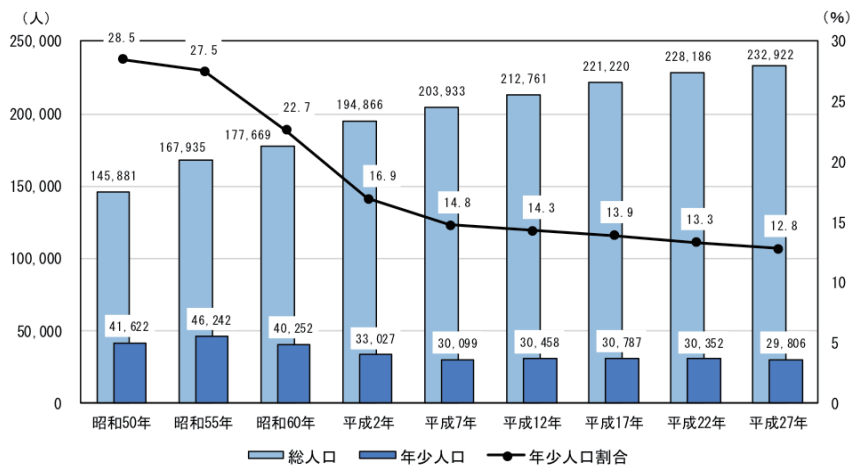
大和市の子育てを取り巻く状況

1. 少子化の動向

(1) 人口と年少人口割合の推移

国勢調査による本市の総人口は、昭和50年の145,881人から平成27年には232,922人と、約1.6倍に増加しました。また、年少人口（0歳から14歳）は、昭和50年の41,622人から平成27年には29,806人と、約7割に減少しました。総人口に占める年少人口の割合は、昭和50年以降減少し、平成27年には12.8%となっています。

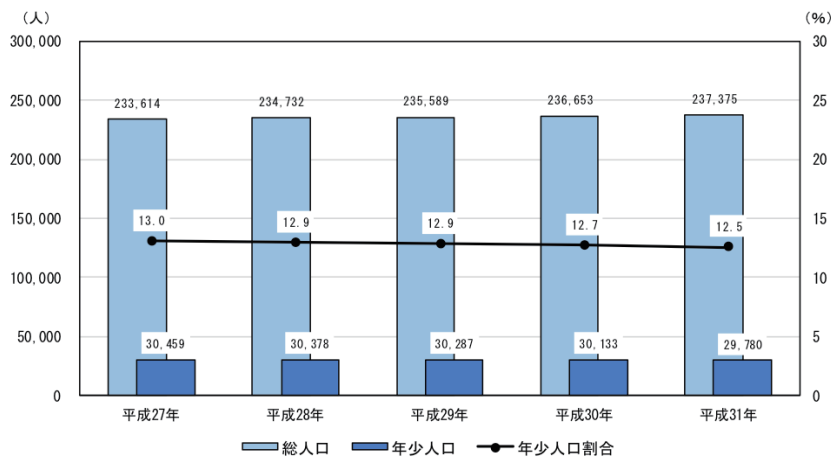
国勢調査による総人口と年少人口割合の推移



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

住民基本台帳に基づく本市の総人口は、緩やかな増加傾向にあります。年少人口は、平成27年には30,459人でしたが、平成31年4月時点では29,780人と679人減少しています。年少人口の割合は、平成31年4月時点で12.5%となっています。

総人口と年少人口割合の推移

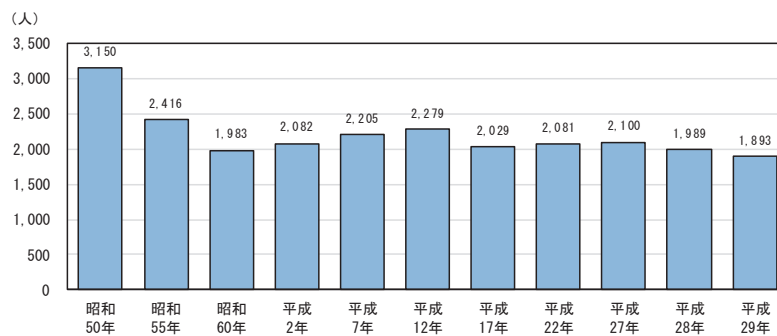


資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

(2) 出生数、出生率（人口1,000人に対する件数）の推移

本市の出生数は、昭和50年の3,150人から昭和60年の1,983人まで急激に減少しましたが、その後は横ばいで推移し、平成29年には1,893人となっています。

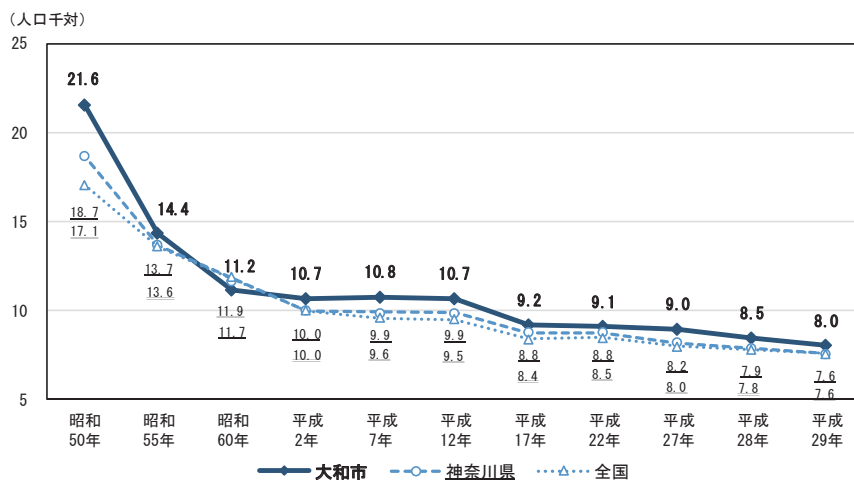
出生数の推移



資料：神奈川県衛生統計年報

本市の出生率（人口1,000人に対する件数）は、全国や神奈川県を上回る水準にあります。昭和50年の21.6から減少傾向で推移しており、平成29年には8.0となっています。

出生率（人口1,000人に対する件数）の推移

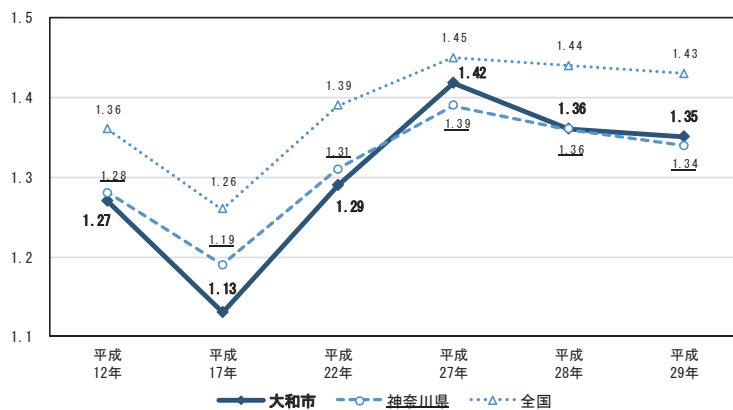


資料：神奈川県衛生統計年報

(3) 合計特殊出生率の推移

本市の合計特殊出生率（女性が一生の間に産むと推定される子どもの数）は、平成17年から増加傾向で推移していましたが、平成27年から減少に転じ、平成29年には1.35となっています。

合計特殊出生率の推移



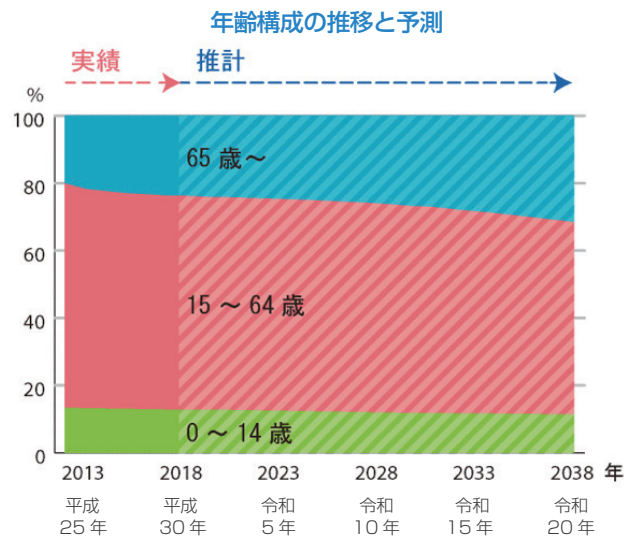
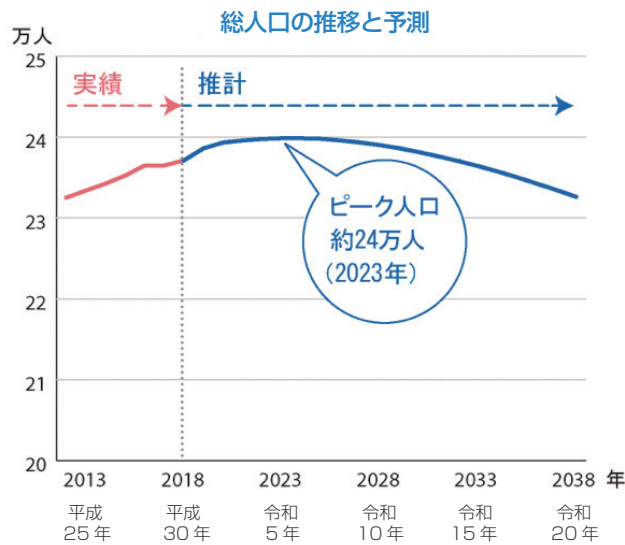
資料：神奈川県衛生統計年報

(4) 今後の年少人口推移

大和市の人口は市制施行以来、増加を続けています。今後もわずかに増加を続けた後、令和5年(2023年)に約24万人のピークを迎え、その後、緩やかに減少していく見通しです。

また、年少人口(0~14歳)の比率は、平成29年(2017年)から令和10年(2028年)にかけて、約13%から12%へ緩やかな減少が予測されます。

将来人口と年齢構成 <大和市>



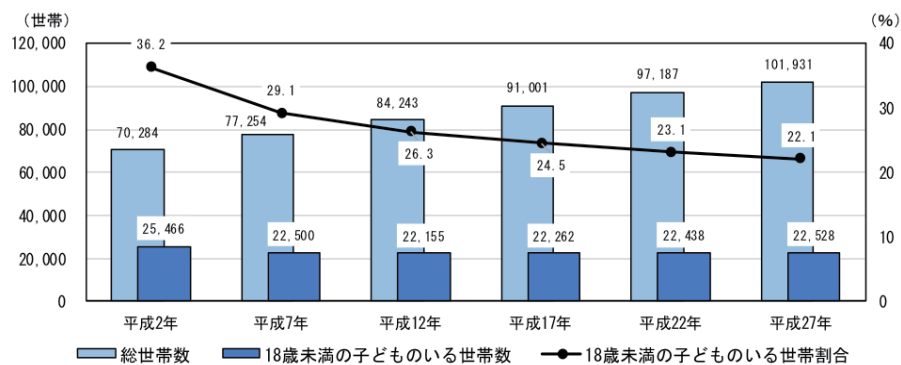
資料：健康都市やまと総合計画

2. 子どもと子育てを取り巻く状況

(1) 子どもがいる世帯数と世帯構造

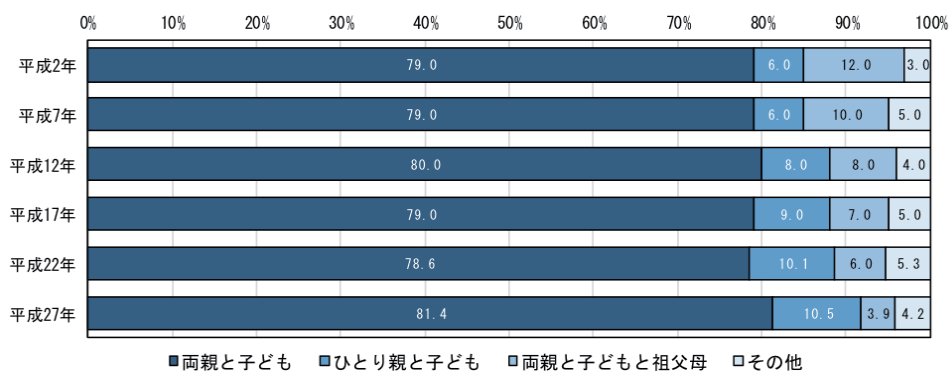
本市の世帯数は全体として増加傾向にあります。18歳未満の子どものいる世帯数は平成2年から平成12年にかけて減少していましたが、平成12年以降は増加傾向で推移しています。18歳未満の子どものいる世帯の構造をみると、核家族世帯（両親と子どもの世帯、ひとり親と子どもの世帯の合計）が全体の9割以上を占めています。一方で、三世同居（両親と子どもと祖父母の世帯）の比率は約4%まで減少しています。

総世帯数と18歳未満の子どものいる世帯が占める割合



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

18歳未満の子どものいる世帯の構造



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

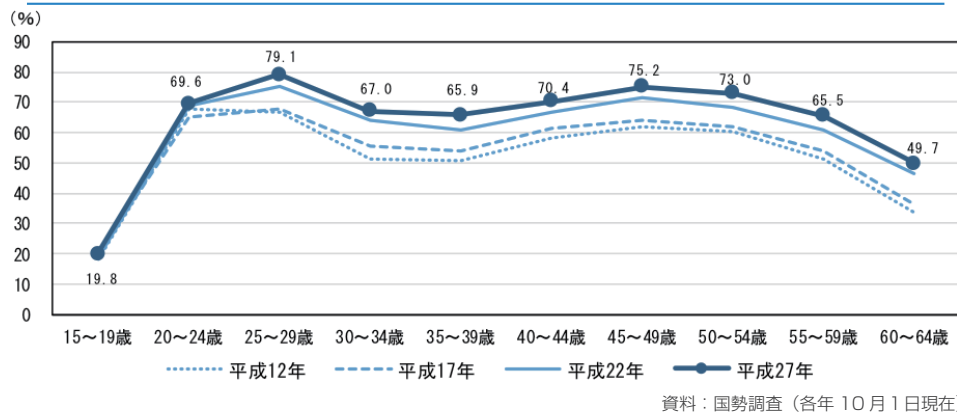
(2) 共働き世帯の増加

① 女性の労働力の推移 (M字カーブ)

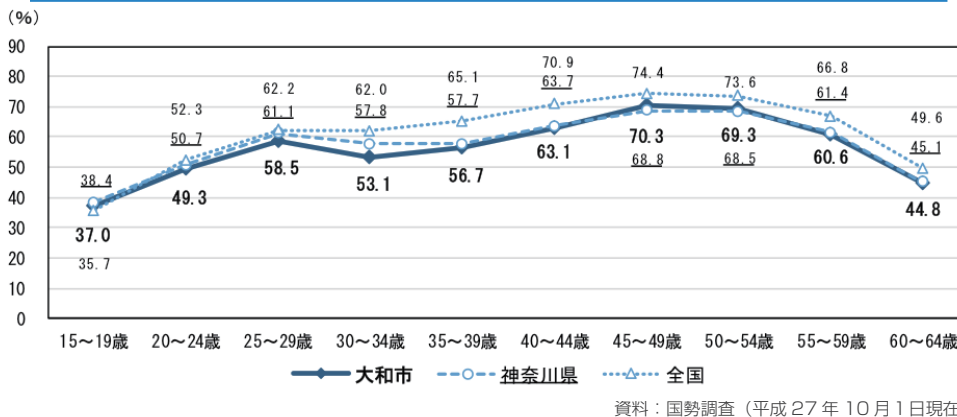
男女別年齢別に労働力率をみると、女性は20歳代前半で就職し、その後結婚や出産により一時離職し、その後再び就職することから「M字カーブ」を描くことが広く知られています。このM字カーブについては、女性の労働力率の変化に関する全国的な傾向として、未婚化や晩婚化が進んでいること、結婚後の雇用継続が増加していること、育児休業取得率が上昇していることなどから、その谷が徐々に浅くなっています。本市の女性の労働力率についても未婚化や晩婚化の傾向は同様であることから、30歳代の女性全体の労働力率は大幅に上昇しています。

また、本市の有配偶者女性（配偶者のいる女性）の労働力率は、全国平均と比較して低い傾向にあります。女性の活躍を支える環境づくりを国全体として推進していく方針であることから、女性の労働力率の上昇は今後も続くものと予想されます。

女性の労働力率の推移<全国>



有配偶女性の労働力率の推移<大和市・神奈川県・全国>

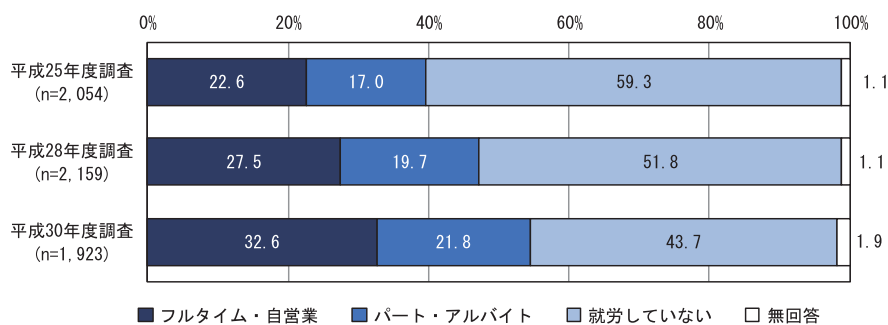


② 親の就労状況

大和市が平成30年度に行った子育てに関するニーズ調査によれば、本市の0～5歳の子どもをもつ親の就労状況は、父親の9割以上がフルタイムで就労しており、母親の32.6%がフルタイムで、21.8%がパート・アルバイトで就労していることがわかっています。5年前の調査と比較すると、就労する母親の比率は14.8ポイント増加しています。

また、現在未就労の母親の63.0%が、将来の就労を希望しており、今後も共働き世帯が増加していくことが予測されます。

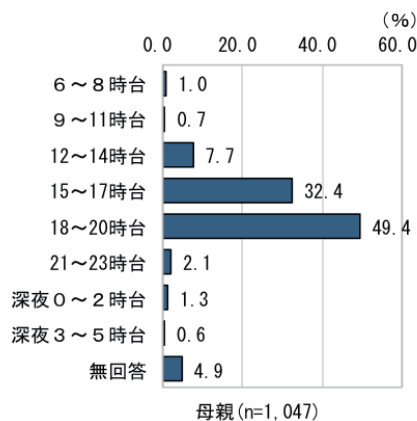
0歳から5歳の子どもを持つ母親の就労状況の変化



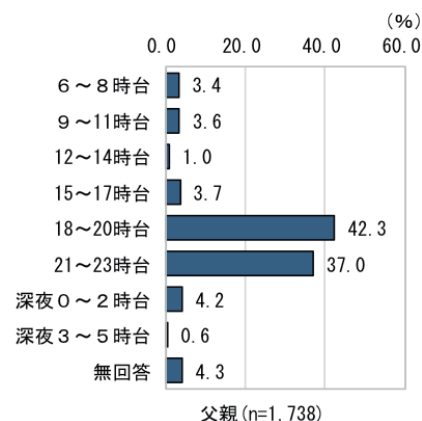
資料：大和市子ども・子育て支援に関する調査（平成25年度、平成28年度、平成30年度）

就労している母親と父親の帰宅時間をみると、母親の帰宅時間は18～20時台が最も多く49.4%となっています。父親の帰宅時間も18～20時台が最も多く42.3%となっていますが、21～23時台も含めると約8割を占めており、平日に父親が育児に関わるのが難しい状況がうかがえます。

就労している母親の就労状況の変化



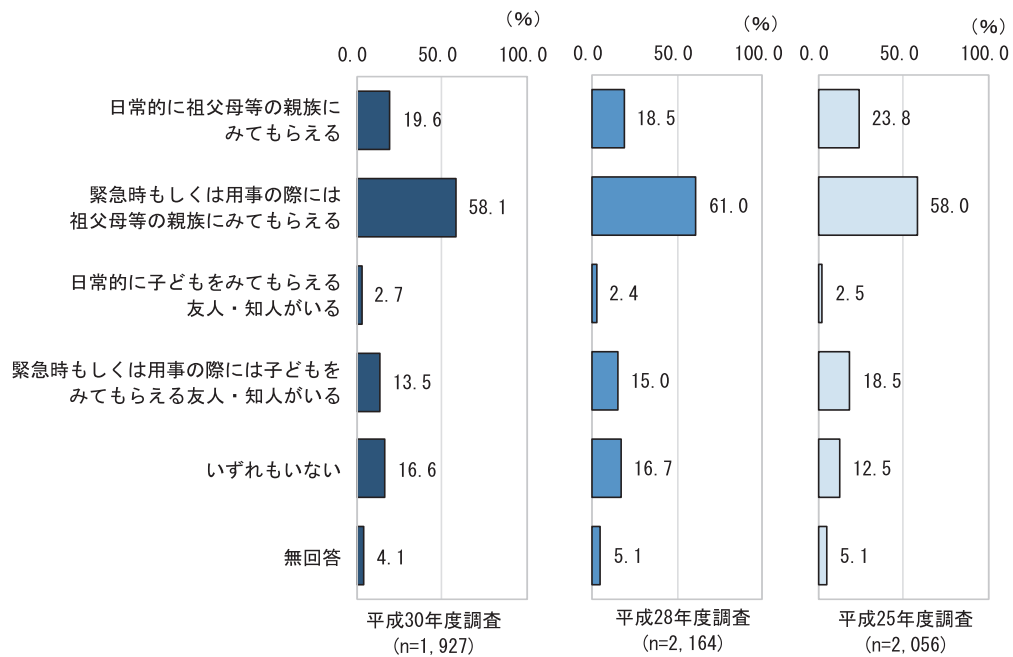
就労している父親の就労状況の変化



資料：大和市子ども・子育て支援に関する調査（平成30年度）

(3) 子育ての不安感、負担感、孤立感

平成30年度のニーズ調査によれば、子育てについて日常的に頼ることができる祖父母等の親族や友人・知人がいる方に割合は22.3%で、4人に1人程度となっています。さらに、5年前の調査と比較すると、子どもをみてもらえる親族・知人がいないと回答した方は、4.1ポイント増加しています。また、約7%の方は子育てをする上で気軽に相談できる人がいないと回答しています。このように、日々の子育てに対する助言や協力を得ることが難しく、孤立した状況で子育てしている家庭が存在していることがうかがえます。



資料：大和市子ども・子育て支援に関する調査（平成25年度、平成28年度、平成30年度）

3. 市民討議会 4つのテーマについて

やまと市民討議会では、午前は大和市の子育て環境に関する全体的な議論を行い、午後には以下の4つのテーマについて議論を進めます。

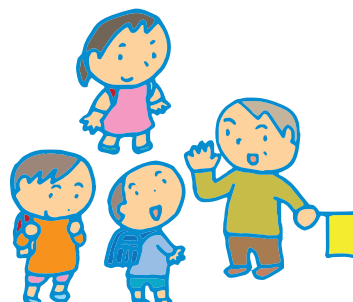
テーマ1

子どもが生き生きと遊べるまち



テーマ2

地域ぐるみで子どもを育てるまち



テーマ3

仕事と子育てが両立できるまち



テーマ4

子育ての不安を和らげる支援策とは





令和元年7月版

[年齢別]

子育て支援

サービス情報一覧表

このチラシの電子版が
ご覧いただけます。大和市イベントキャラクター
ヤマトン

子育て相談・支援窓口

○ 子育て何でも相談・応援センター

子育ての相談先に迷ったら、まずはこちらへ。

産前・産後・子育て期まで切れ目なく、子育てに関する様々なご相談に、専門の保健師や相談員が対応します。

所在地	連絡先	開所時間
大和市保健福祉センター2階（すくすく子育て課内）	046(260)5675	8:30～17:00（平日）

★母子健康手帳の交付

【平日】8:30～17:00（木曜日は予約制で19時まで受付します。）

【休日】第2土曜日8:30～17:00、第2土曜日の翌日（日曜日）8:30～12:30

○ 保育コンシェルジュ

保育所や幼稚園、一時預かり事業など、それぞれのご家庭の状況に応じた保育サービスについて、専門の相談員が対応します。ご相談には事前予約が必要です。まずはお問合せください。

相談場所：大和市保健福祉センター、大和市子育て支援施設、大和市子育て支援センター

問い合わせ先	連絡先	受付時間
ほいく課（認定入所係）	046(260)5607	8:30～17:00（12:00～13:00 除く）

○ ファミリーサポートセンター

保育所・病児保育室等までの送迎や、子どもの一時的な預かり、病児・病後児の預かりなどを行います。

利用するには、事前の登録が必要です。また、支援を行う支援会員（報酬有り）も募集しています。

まずは下記（大和市からの委託先）までお問い合わせください。

問い合わせ先	連絡先	受付時間
(特非)ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア	046(264)5726	9:00～19:00

○ ひとり親家庭等相談

ひとり親家庭の方などの生活全般の悩みなどについて、母子・父子自立支援員がご相談をお受けします。

問い合わせ先	連絡先	受付時間
こども総務課（手当医療係）	046(260)5608	9:00～17:00（12:00～13:00 除く）

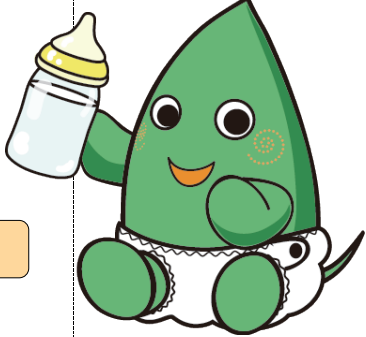
★時間を問わずにメールで相談をお受けする「ひとり親家庭・いつでもメール相談」も実施しています。

 パソコン
 スマートフォン
 携帯電話
 からご利用いただけます。
スマートフォン用
二次元コード携帯用
二次元コードこの一覧表の事務担当は、
こども総務課政策調整係
電話：046(260)5606

大和市・年齢別子育て支援サービス情報一覧表

	妊娠・出産期	乳児期（0歳）	
情報提供等 健診・教室	<input checked="" type="checkbox"/> 妊婦健診・妊婦歯科健診 <small>（妊婦中の健診費用を助成します。また歯科健診を無料で受診できます）</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問） <small>（育児の支援や情報提供のため、概ね生後4か月までの子育て家庭を全て訪問します）</small>	
	<input checked="" type="checkbox"/> プレママ・パパ教室・イクメン講座 <small>（第1子目のママ・パパを対象とした、妊娠・出産・育児に関する基本講座）</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 赤ちゃん訪問プラス（希望に応じ、再度専門スタッフ）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児健診（月齢に応じた発育・発達を確認します。）	
		<input checked="" type="checkbox"/> もぐもぐ教室（離乳食教室）○1歳児育児教室 ○	
		<input checked="" type="checkbox"/> 低体重育児支援（低出生体重児と保護者を対象とした健康管理・育児支援）	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て何でも応援メール（妊娠期から1歳になる前まで、子どもの月齢に応じた子育て情報やアドバイスを送るメールマガジンです）		<input checked="" type="checkbox"/>
親子のひろば 育児相談	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て何でも相談・応援センター（子育てにかかわる悩み・母子の健康など何でも相談を受け付け）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児相談（保健師・栄養士による乳幼児の健康相談）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 助産師さん何でも相談 <small>（妊娠期～産後の体調の変化や育児について助産師による相談、家庭訪問を行います）</small>	<input checked="" type="checkbox"/> ほ（入所）保育コンシェルジュ（保育・教育を希望します）	
		<input checked="" type="checkbox"/> ひとり親家庭の相談（母子・父子自立支援員による）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達相談（専門職員による発達に関する）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 親子で集えるひろば（子育て支援センター、こども～る）における子育て支援情報の提供及び育児に		
	<input checked="" type="checkbox"/> ほ（指導）地域育児センター事業（保育所7園）育児相談事業・地域育児講座・開放保育遊ぼう会等		
地域支援		<input checked="" type="checkbox"/> ファミリーサポートセンター（地域における会員相）	
		<input checked="" type="checkbox"/> ほ（指導）病児保育事業（保護者が仕事などの理由による）	
		<input checked="" type="checkbox"/> ほ（入所）一時預かり事業（保護者が仕事などの理由による保育を利用できます）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 青（育成）こども食堂支援事業（孤食となってしまう子）	
通園		<input checked="" type="checkbox"/> ほ（入所）認可保育所（48園）・認定こども園（2園） 育事業（1か所）	<input checked="" type="checkbox"/> ほ（
その他 手当・給付・助成	<input checked="" type="checkbox"/> 不育症治療費の助成 <input checked="" type="checkbox"/> 一般不妊治療費の助成 <small>（タイミング法・人工授精など）</small> <input checked="" type="checkbox"/> 特定不妊治療費の助成 <small>（体外受精・顕微授精など）</small> <input checked="" type="checkbox"/> 第3子以降の出産費の助成	<input checked="" type="checkbox"/> 児童手当（児童の健やかな成長に資するための手当支）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 小児医療費の助成（中学校卒業までの児童にかかる保）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 児童扶養手当（父母の離別等で児童がいる世帯につい）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 未熟児養育医療給付（低出生体重児に対する入院中の保険診療費等給付）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 児童発達支援（発達に不安のある子を対象とした日常）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 養育支援訪問（養育に支援を必要とする家庭に養育相）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 安否確認メールサービス「赤ちゃんまもるくん」 <small>（市が保護者の安否を毎日メールで確認することで、赤ち）</small>	
事業担当課 ・問い合わせ先	こども総務課（260-5608） すくすく子育て課（260-5609）	ほ（指導）・・・ほいく課保育指導係（260-5672） ほ（入所）・・・ほいく課認定入所係（260-5607） ほ（給付）・・・ほいく課給付審査係（260-5640）	

(令和元年7月1日時点)

幼児期 (1~5歳)	小学生期 (6~12歳)	中学生期 (13~15歳)
<p>す 2歳児歯科相談 (歯科健診や歯磨き指導等) が訪問します)</p> <p>4か月・8か月・1歳6か月・3歳6か月)</p> <p>おべんとう教室(月齢に応じ食事等に関する講座)</p> <p>自閉症療育講座(自閉症・発達障がいへの理解と対応などを学ぶ講座)</p> <p>親子 de 健診(1歳6か月児歯科健診の際に、ご両親を対象に無料で血液検査を実施)</p>		
<p>ます)</p> <p>る保護者の相談に応じるとともに保育情報を提供し</p> <p>るひとり親家庭等にかかわる相談)</p> <p>悩み相談)</p> <p>関わる相談や講習会を実施)</p>	<p>相 青少年相談 (主に学齢時期の子育てに関する相談。30歳まで相談可)</p>	
<p>互の子育て支援活動をサポート)</p> <p>り病気の児童を家庭で保育できない場合に利用できます)</p> <p>より家庭で保育できない場合に、保育所等で一時</p>	<p>青(育成) 児童館 (市内22か所で、指導員のもとに様々な活動が行われています)</p>	
<p>どもたちの安心できる地域の居場所づくりや保護者への子育て支援を目的として運営しています)</p> <p>・小規模保育事業(17か所)・家庭的保</p> <p>給付) 幼稚園 (幼稚園給付5園・私学幼稚園10園)</p>	<p>青(育成) 放課後児童クラブ (保護者不在の児童に対し、生活の場を提供します)</p> <p>青(活動) 放課後子ども教室 (放課後児童の安全・安心な居場所を設け、児童の健全育成を図ります)</p> <p>指 放課後寺子屋やまと (放課後の空き教室などで児童・生徒の学習を支援します)</p>	
<p>給。月額5~15千円/月)</p> <p>険診療の自己負担分を助成) ※対象年齢は自治体によって異なります。</p> <p>て、手当の支給) <input checked="" type="checkbox"/> ひとり親家庭等医療費・家賃助成 (父母の離別等で児童がいる世帯について、医療費・家賃の助成)</p>		
<p>生活動作の指導や集団生活適応訓練を行います)</p> <p>談を行う専門職員や育児ヘルパー等を派遣します)</p> <p>ゃんの大切な命を守るサービスです)</p>	<p>す 放課後等デイサービス (発達に不安のある子を対象とした、生活能力向上訓練等を行います)</p>	
<p>青(育成)・・・こども・青少年課こども・青少年育成係 (260-5224)</p> <p>青(活動)・・・こども・青少年課こども・青少年活動推進係 (260-5226)</p>	<p>健・・・健康づくり推進課 (260-5662)</p> <p>指・・・指導室 (260-5210)</p> <p>相・・・青少年相談室 (260-5036)</p>	

令和元年度 市民討議会

報告書

令和2年2月

発行 大和市 政策部 総合政策課

〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間 1-1-1

電話 046-260-5304

